

Q

Digital TV(12セグ／ワンセグ)を見る

テレビについて.....	Q-2
地上デジタルテレビ放送について	Q-2
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更 (リバック)について	Q-2
地上デジタルテレビ放送の番組受信について	Q-3
miniB-CASカードについて.....	Q-4
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先 について	Q-5
各部の名称とはたらき	Q-6
DTVメニューについて	Q-9
パナー表示について	Q-10
Digital TV (12セグ／ワンセグ) を見る	Q-12
Digital TVモードにすると	Q-12
中継・系列局サーチをする	Q-13
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)を する	Q-14
番組表を見る	Q-16
スキャンする	Q-18
初期スキャン／再スキャンをする	Q-18
選局する	Q-20
手動選局で放送局を選ぶ	Q-20
自動選局で放送局を選ぶ	Q-20
プリセットで放送局を選ぶ	Q-21
リストで放送局を選ぶ	Q-22
プリセットボタンにメモリーする.....	Q-24
エリア呼出／プリセット呼出について	Q-25

チャンネルリスト／プリセットリストを クリアする	Q-26
設定をする	Q-28
映像を切り替える	Q-28
音声を切り替える	Q-29
郵便番号設定	Q-30
自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする	Q-31
中継局と系列局サーチの自動／手動の 設定をする	Q-32
サービスの設定をする	Q-33
チャンネル設定	Q-34
時計表示設定	Q-36
文字スーパーを切り替える	Q-37
字幕表示を切り替える	Q-38
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	Q-40
miniB-CASカードのテストをする	Q-42
放送局からの情報を見る	Q-43
設定を初期化する	Q-44
データ放送を利用する	Q-45
リレーサービスの番組を見る	Q-48
臨時サービスの番組を見る	Q-48
緊急放送を見る	Q-49
受信中に緊急放送が始まると	Q-49
エラーコードについて	Q-50

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、アナログ(VHF / UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。
※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
(一部地域は除く)
- お車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。[]「視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする」Q-14
- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。
 - ・ テレビ放送……従来からのテレビ放送 ・ ラジオ放送……音声を主とした放送
 - ・ データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
 ※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。(ラジオ放送は未対応)
- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報なども同様に遅れます。)
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。
※セグメントを放送自動切替に設定してください。
[] Q-7操作ボタン2の **受信モード** をタッチして切り替えます。
- miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。
[]「miniB-CASカードについて」Q-4 / 「**miniB-CASカードを入れる / 取り出す**」H-8
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。
 - ・ 日本の地上デジタルテレビ放送は、約6 MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。



- ※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
- ・ 地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。
※ただし、東北地方の岩手県、宮城県については2013年の3月末までに実施されます。
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。([] Q-18)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報は下記ホームページをご覧ください。<http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main>

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が悪化したり雑音が入ることがあります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が悪化したり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が悪化することがあります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

miniB-CASカード



ID番号

契約内容などを管理するための大切な番号です。お問い合わせの際にも必要です。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
 - ・ 折り曲げたり、変形させない
 - ・ 上に重いものを置いたり踏みつけたりしない
 - ・ 水をかけたり、ぬれた手でさわらない
 - ・ IC(集積回路)部には手をふれない
※ IC(集積回路)部に塩分や油分が付着すると故障の原因になることがあります。
 - ・ 分解加工は行なわない
 - ・ カード挿入口に正しく挿入する  「miniB-CASカードを入れる/取り出す」H-8
 - ・ ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない
※ 地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - ・ 付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない
 - ・ 付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできない
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細につきましては、miniB-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。
- 長時間ご使用にならないときは、miniB-CASカードを取り出しておいてください。
※ 長時間、本機内に入れておくと高温などのためにminiB-CASカードを傷める原因となることがあります。取り出したあとは、大切に保管してください。

付属のminiB-CASカードにつきましてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00～20:00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

各部の名称とはたらき

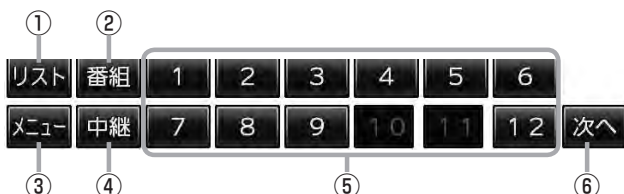
テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタンが約10秒表示されます。
※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。



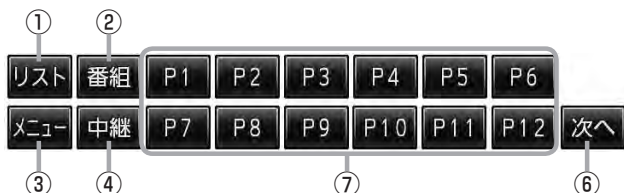
- 操作ボタン1は、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらを設定しているかによって表示内容（機能）が異なります。【P】Q-23
- 映像を表示しているとき、画面左下に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。
【P】「時計表示設定」Q-36

操作ボタン1

チャンネルリスト 設定中の場合



プリセットリスト 設定中の場合



① リスト ボタン

チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。

【P】Q-22

② 番組 ボタン

番組表を表示します。

【P】Q-16

③ メニュー ボタン

DTV メニュー画面を表示します。

【P】Q-9

④ 中継 ボタン

中継局(系列局)をサーチします。

【P】Q-13

⑤ 1 ～ 12 ボタン(エリア)

あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。

【P】Q-21

⑥ 次へ ボタン

次ページの操作ボタンを表示します。

(操作ボタン2を表示)【P】Q-7

⑦ P1 ～ P12 ボタン(プリセット)

プリセットリスト画面でメモリーした物理チャンネル(13～62 ch)を表示します。

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽くタッチします。

【P】Q-21

操作ボタン2



① 受信モード ボタン

タッチすることによりセグメントを切り替えます。
放送自動切替 → 12セグ → ワンセグ

② 色ボタン ボタン

色ボタンを表示します。[Q-45] 下記
データ放送など画面上で指示が出たときに使用します。

③ 映像切替 ボタン

映像を切り替えます。
[Q-28]

④ 音声切替 ボタン

音声を切り替えます。
[Q-29]

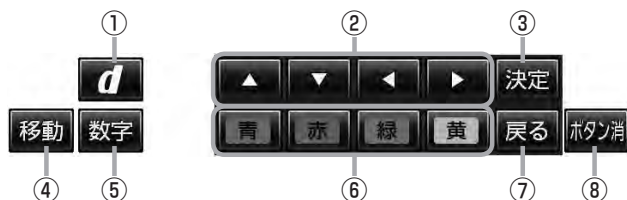
⑤ d ボタン

データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
[Q-45]

⑥ 前へ ボタン

前ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン1を表示) [Q-6]

色ボタン



① d ボタン

データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
[Q-45]

② ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン(カーソルキー)

データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。

③ 決定 ボタン

データ放送画面で選んだ項目を決定(実行)します。

④ 移動 ボタン

操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

⑤ 数字 ボタン

数字ボタンを表示します。
データ放送時に数字を入力するときに使用します。

⑥ 青 / 赤 / 緑 / 黄 ボタン(カラーキー)

データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。
[Q-46]

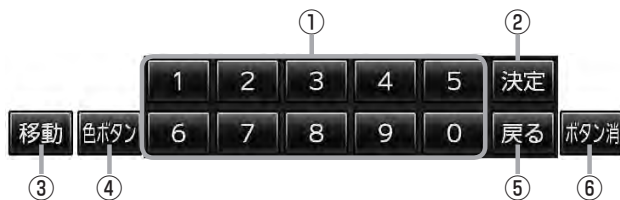
⑦ 戻る ボタン

データ放送画面操作時に
1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑧ ボタン消 ボタン

操作ボタンを消します。

数字ボタン

① **0 ～ 9** ボタン(10キー)

データ放送利用中に数字を入力するときに使します。

② **決定** ボタン

データ放送画面で選んだ項目を決定(実行)します。

③ **移動** ボタン

操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

④ **色ボタン** ボタン

色ボタンを表示します。
データ放送画面上で指示が出たときに使します。

⑤ **戻る** ボタン

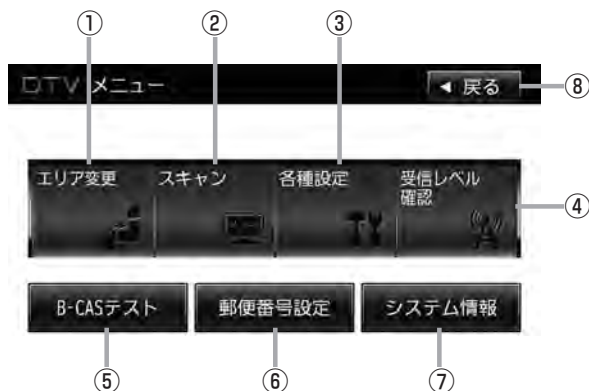
データ放送画面操作時に1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑥ **ボタン消** ボタン

操作ボタンを消します。

DTVメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、**メニュー**をタッチするとDTVメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのDTVメニューを使って行ないます。

① **エリア変更** ボタン

視聴エリアを変更します。

📖 Q-14

② **スキャン** ボタン

初期スキャン／再スキャンをすることができます。

📖 Q-18

③ **各種設定** ボタン

Digital TVのいろいろな設定をすることができます。

- 放送自動切替 📖 Q-31
- 中継・系列局サーチ 📖 Q-32
- サービス設定 📖 Q-33
- チャンネル設定 📖 Q-34
- 時計表示 📖 Q-36
- 文字スーパー表示 📖 Q-37
- 字幕表示 📖 Q-38

④ **受信レベル確認** ボタン

受信レベルの確認をすることができます。

📖 Q-40

⑤ **B-CASテスト** ボタン

miniB-CASカードのテストをすることができます。

📖 Q-42

⑥ **郵便番号設定** ボタン

郵便番号の設定をすることができます。

📖 Q-30

⑦ **システム情報** ボタン

受信情報の確認 📖 Q-43や

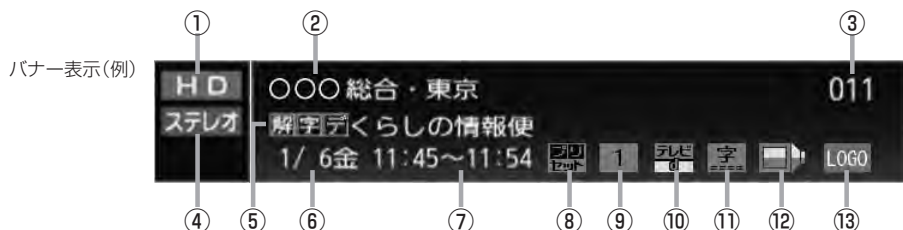
メモリの初期化 📖 Q-44をすることができます。

⑧ **戻る** ボタン

受信画面に戻ります。

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。



① 放送の種類

HD ハイビジョン放送

SD 標準放送 (SDTV)

※本機は **HD** を表示しても映像は標準画質で映されます。(**HD** / **SD** は放送の種類を示すもので画質を示すものではありません。)

② 放送局名

放送局の名称を最大10文字まで表示します。

③ チャンネル番号(チャンネル表示)

設定によりチャンネル表示を変更することができます。**[F]** Q-34

④ 音声の種類

番組の音声を表示します。

(例) **ステレオ** **マルチCH** *

モノラル **ステレオ**

JPN **ENG** **JPN**
主 **副** **ENG**

※音声(と映像)が複数ある場合選択することができます。

[F] 「**音声を切り替える**」 Q-29

*印…本機は5.1chサラウンドには対応していません。

⑤ 番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。

また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

[テ] 番組連動データ放送

[二] 2カ国語放送

[字] 字幕放送

[B] 圧縮Bモードステレオ音声

[SS] サラウンドステレオ音声

[多] 音声多重放送

[再] 再放送

[S] ステレオ放送

[解] 音声解説

[映] 劇映画

[吹] 吹き替え

[W] ワイド放送

[MV] マルチビューテレビ放送 …など

※記号は放送局側で付けられています。

※上記以外の記号もあります。

⑥ 日付

放送番組の日付を表示します。

⑦ 放送時刻

番組の放送時刻を表示します。

⑧ プリセット表示

プリセットリストを選択している場合に表示されます。

[F] Q-23

⑨ エリア番号／プリセット番号

そのチャンネルがエリア登録またはプリセット登録されていることを表し、表示される数字はエリア番号またはプリセット番号を表します。

⑩ 番組の種類など〔データ放送は12セグのみ〕

テレビ放送

独立型データ放送

テレビ

データ

テレビ
d

← 番組内容と関連しない
データ放送あり

テレビ
+d

← 番組内容と関連した
データ放送あり

「データ放送を利用する」Q-45

⑪ 字幕

番組に字幕サービスがあるときに「字」が明るく表示されます。

「字幕表示を切り替える」Q-38

⑫ 信号選択

複数の映像や音声を送られているときに「映像」が明るく表示されます。

「映像を切り替える」Q-28

「音声を切り替える」Q-29

⑬ チャンネルのロゴマーク



アドバイス

- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

Digital TVモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動で視聴エリアの変更を行ない、また、中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行ないます。

視聴中、本機内部では常に中継局／系列局をサーチしています。電波状態の良い放送局がある場合のみ視聴画面として切り替わります。

中継・系列局サーチ中に表示



※サーチ機能が自動で働くのは中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合となります。

〔P〕「**中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする**」Q-32

※サーチした放送局によっては元の視聴中の番組と異なる場合があります。

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。

〔P〕「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」Q-14

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。従って放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。

「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。

NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2011年3月現在)

※中継・系列局サーチの自動/手動の設定につきましては、

☞「**中継局と系列局サーチの自動/手動の設定をする**」Q-32をご覧ください。

1 自動/手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする場合

: 受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする場合

① 画面をタッチし、**中継**をタッチする。



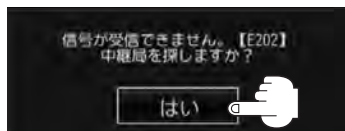
中継・系列局サーチ中画面(例)



: 受信状態にかかわらず、すぐに中継・系列局をサーチします。



中継・系列局サーチの設定(☞Q-32)で“手動”を選択している場合、視聴中の放送局が受信できない状況になると、画面にメッセージが表示されるので、**はい**をタッチすると受信できる放送局を探します。



サーチ中に **⏮** / **⏭** (選局) をタッチする、または **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) をタッチするとサーチは止まり、要求された選局を行ないます。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

初期設定のエリア変更は「自動」に設定されています。



アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行ないます。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。

現在地によって受信できる放送局(**1** ～ **12** (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン表示画面(例)



2

エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

DTVメニュー画面



3

手動 をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

※すでに“手動”が設定されている場合は、手順 **4** (📄 Q-15)へ進んでください。

■ エリア変更を“自動”にする場合

① 右記画面のとき **自動** をタッチする。

： “自動” に設定されます。

視聴エリア変更画面



4

現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



視聴エリア変更画面(県域選択時)



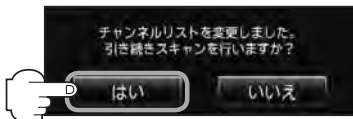
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局が全て **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

※選択している地域で放送されている放送局を全てプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

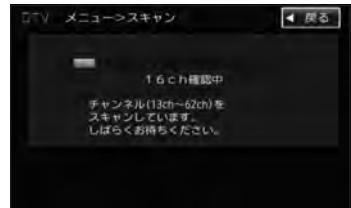
：現在地を変更し、スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

■ スキャンを行なう場合

① **はい** をタッチする。



：スキャンを開始します。



※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行わない場合

① **いいえ** をタッチする。



：スキャンをしないで受信画面を表示します。



- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行なってください。[P] Q-18

Q-16 番組表を見る

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、 番組 をタッチする。

：番組表が表示されます。

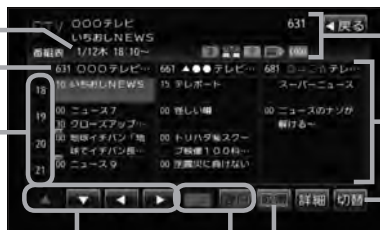
※番組表／詳細情報表示中、音声・映像は出力されません。

操作ボタン1表示画面(例)



番組表(例)

日付曜日
チャンネル番号
放送局名表示
時間帯表示



選択中の番組の放送局名やチャンネル・日付曜日などを表示

番組表表示

▲／▼／◀／▶(カーソルキー)を使って番組表をスクロールさせることができます。

※情報未取得のチャンネル(放送局)にカーソルを移動させると、番組情報を自動で取得します。

取得 をタッチすると、選択中エリア全ての放送局の番組情報を一括で取得します。

※この操作で取得できる情報は、最大9時間後までの分となります。

当日以降の番組を表示している場合、**前日** タッチで前日の番組表を表示します。**翌日** をタッチすると、翌日の番組表を表示します。(7日目まで)

※12セグの場合のみ

*印・・・**切替** をタッチするたびに番組表に表示されるチャンネル情報の数(放送局数)を切り替えることができます。

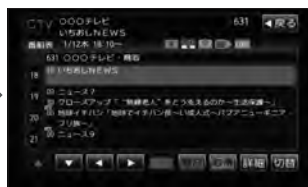
3チャンネル表示(例)



5チャンネル表示(例)



1チャンネル表示(例)



■ 番組の詳細情報を見る場合 さらに番組の詳細情報を見ることができます。

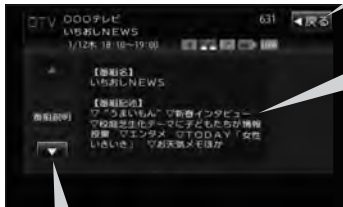
- ① ▲／▼／◀／▶ (カーソルキー)で
見たい番組を選択し、**詳細** をタッチする。

番組表 3チャンネル表示(例)



：視聴中または、すでに番組情報を取得済の放送局を選択した場合は、番組内容画面が表示されます。

番組内容画面(例)



続きがある場合、▲／▼ タッチでスクロールさせることができます。

タッチすると番組表へ戻ります。

内容

番組名……番組のなまえ

番組記述……番組の内容や出演者など

番組内容……番組の内容(あらすじ)などを番組記述より詳しく表示

出演者……出演者名

ジャンル……番組のジャンル

信号………525i、ステレオなどの情報

その他………中止や延長、シリーズ番組の情報など

※上記の内容は情報がある項目のみ表示されます。

2

番組表を見たら、**戻る** をタッチする。

：現在視聴中の受信画面に戻ります。



アドバイス

- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、すぐに表示が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- ワンセグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 表示される番組表は最終選択時の状態を保持するため、**番組** をタッチしたときに表示されるチャンネル情報(放送局)の数は状態によって異なります。

Q-18 スキャンする

初期スキャン／再スキャンをする

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

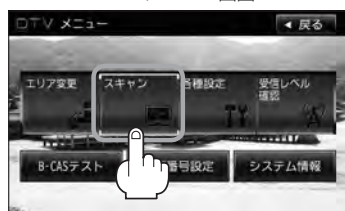
操作ボタン1表示画面(例)



DTVメニュー画面

- 2 **スキャン** をタッチする。

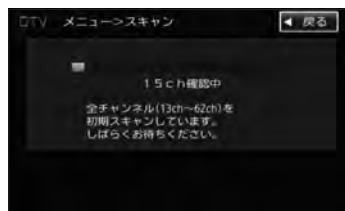
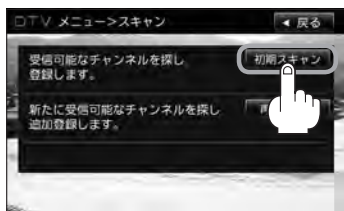
：スキャン画面が表示されます。



- 3 初期スキャン／再スキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

- ① **初期スキャン** をタッチする。



：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。



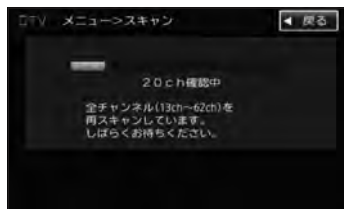
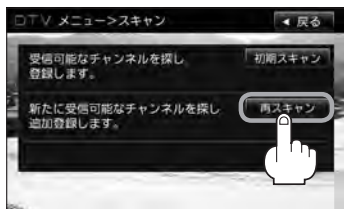
初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**1**～**12**(エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

※その時点で受信できない放送局はチャンネルリストから削除されます。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

① 再スキャン をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、プリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。



アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 既にチャンネルリストにある放送局と同じチャンネル番号の放送局も枝番号を使って追加されます。但し、チャンネルリストに登録される放送局全体には上限があります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すには初期化を行なってください。

☞ 「チャンネルリスト/プリセットリストをクリアする」Q-26 / 「設定を初期化する」Q-44

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

1

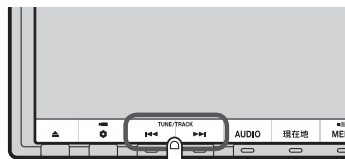
⏮ / ⏭ (選局) をタッチする。

：ボタンをタッチするたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



アドバイス

地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。その場合、ボタンをタッチすることによりプリセット(メモリー)されている放送局に順に変わります。



⏮ / ⏭ ボタン
(選局)

自動選局で放送局を選ぶ

1

⏮ / ⏭ (選局) を 1 秒以上タッチする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※放送局を受信または一巡するまで自動選局は継続されます。



アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合、全チャンネルを一通りシーク(探し求めた)後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **1** ～ **12** (エリア) にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が **P1** ～ **P12** (プリセット) にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に放送局をメモリーしておく必要があります。

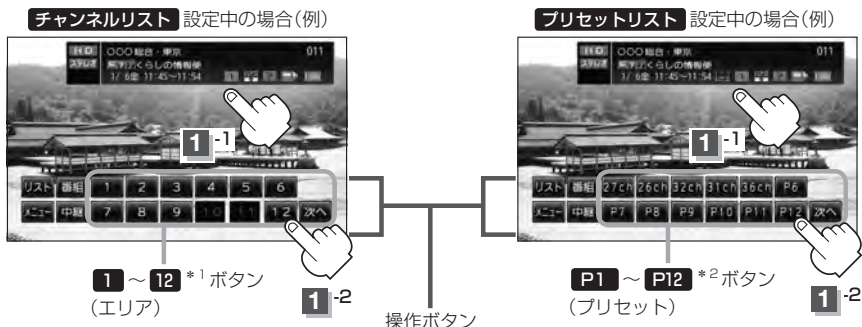
☞ 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14

☞ 「スキャンする」Q-18

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」Q-24

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**1** ～ **12** (エリア) または **P1** ～ **P12** (プリセット) の中で呼び出したい数字をタッチする。



：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。



アトハイブ

* 1 印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。

* 2 印… **P1** ～ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示 (**13ch** ～ **62ch**) となります。

- **1** ～ **12** (エリア) に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **1** ～ **12** (エリア) をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞ Q-23)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは☞ 「Digital TV のチャンネル一覧」 T-18 より確認できます。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身が好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14

☞「スキャンする」Q-18

☞「プリセットボタンにメモリーする」Q-24

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
リストをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号 放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の
組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。



- プリセットリスト(右記)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)は自動で変更されます。



チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは☞「Digital TVのチャンネル一覧」T-18より確認できます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

: プリセットリスト画面が表示されます。



すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。



1～12表示 放送局名と物理チャンネル
(P1～P12)

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

: 選択した放送局を受信します。



アドバース

- チャンネルリストは操作ボタン1の**1**～**12**(エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

チャンネルリスト画面(例)



エリア番号 放送局名

操作ボタン1

(例) **1**～**12** ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタン1の**P1**～**P12**(プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。

*印…物理チャンネル Q-35

プリセットリスト画面(例)



プリセット番号 放送局名／物理チャンネル
※P1にメモリーされている場合1と表示

操作ボタン1



(例) **P1**～**P12** ボタン
(プリセット)

※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約10秒後に消えます。

プリセットボタンにメモリーする

プリセット選局(☞ Q-21)やリスト選局(☞ Q-23)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

⏮ / ⏭ (選局)をタッチして、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「手動選局で放送局を選ぶ」 / 「自動選局で放送局を選ぶ」 Q-20

2

プリセットリストを呼び出す。

☞ 「リストで放送局を選ぶ」 Q-22 手順 **1** および Q-23

3

プリセットリストのメモリーしたい1～12を1.5秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※操作ボタン1の **P1** ～ **P12** 表示は設定すると **13ch** ～ **62ch** (物理チャンネル)表示へと変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。



1 に27チャンネルをプリセット(メモリー)した場合



1～12表示
(P1～P12に相当)

メモリーしたチャンネルが
表示されます。



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには **P1** ～ **P12** (プリセット☞ Q-21) / プリセットリスト(上記)を軽く(1.5秒未満)タッチします。☞ Q-21
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

エリア呼出／プリセット呼出について

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

チャンネルリスト設定中(☞ Q-22)に
画面をタッチすると



1 ～ **12** (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(☞ Q-23)に
画面をタッチすると



P1 ～ **P12** (プリセット)が表示される

※ **1** ～ **12** (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

P1 ～ **P12** (プリセット)は、お客様ご自身が好きな放送局をメモリーします。

メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば **P1** に27チャンネルをプリセットすると **P1** は **27ch** 表示になります。

*印…物理チャンネル☞ Q-35

※操作ボタン 1 の表示は最終選択時の状態を保持するため、**チャンネルリスト**／**プリセットリスト** (☞ Q-23 アドバイス)どちらを選択したかによって表示が異なります。

※初期状態はチャンネルリストが設定されています。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
リストをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン表示画面(例)



2

チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

■ チャンネルリストをクリアする場合

① **リストクリア**をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：チャンネルリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。(視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)



プリセットリストが表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストをクリアする場合

① **プリセットリスト**をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：プリセットリスト画面が表示されます。

② **リストクリア**をタッチする。

プリセットリスト画面



：プリセットリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。(全ての登録内容がから(空白)になります。)



すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

3

設定を終えるには、表示が消えるまで待つか **戻る** をタッチする。

：視聴画面に戻ります。



アドバイス

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるかは状態によって異なります。
- チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約 10 秒後に消えます。

映像を切り替える

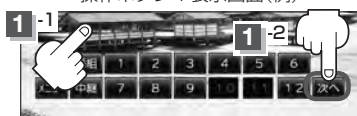
数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
次へ をタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

映像の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 数種類の映像がある場合

① **映像切替** をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間に **映像切替** をタッチ
して希望の映像を選ぶ。

：タッチすることにより映像が切り替わります。

映像の
種類
(例)



アドハイス

12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の  が明るく表示されます。

■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① **映像切替** をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間に **映像切替** をタッチ
して希望の映像を選ぶ。

：タッチすることにより映像が切り替わります。

映像の
種類
(例)



アドハイス

- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に“マルチビューテレビ放送です。「映像切替」キーで選択できます。”とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

音声を切り替える

数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
次へ をタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

音声の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声(デュアルモノラル)の場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間に **音声切替** を
タッチする。

：タッチすることにより「JPN」、「ENG」、
「JPN + ENG」など切り替わります。

音声
表示
(例)



■ 数種類の音声がある場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声の種類が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間に **音声切替** を
タッチする。

：音声切り替わります。



アドバイス

数種類の音声が発送されているときはバナー表示の  が明るく表示されます。

● 音声の種類について

ステレオ……………2チャンネル(左右)のステレオ放送です。

モノラル……………左右が同じ音の、ステレオではない音です。

デュアルモノラル…複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

郵便番号設定

郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

☞「データ放送を利用する」Q-45

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

郵便番号設定 をタッチする。

：郵便番号設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

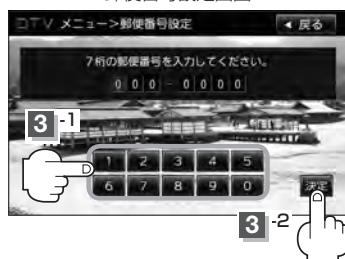


3

0 ~ 9 (10キー) をタッチして郵便番号を
入力し、**決定** を2回タッチする。

：システム設定画面に戻ります。

郵便番号設定画面



4

戻る をタッチすると受信画面に戻る。

自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする

受信モード (〔Q-7〕) で放送自動切替に設定されているとき、優先するモードを切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面



各種設定画面

3

自動切替の設定をする。

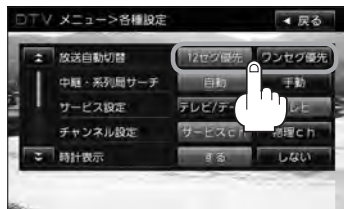
■ **12セグ優先** をタッチした場合

：受信状態が悪くなくても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ **ワンセグ優先** をタッチした場合

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り替えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り替わりません。



アドバンス

- セグメントは操作ボタン2の**受信モード** をタッチして切り替えます。(〔Q-7〕)
※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によって12セグとワンセグを切り替える自動切替の中から選択できます。
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(12セグ/ワンセグともに)受信できない場合があります。
- 12セグとワンセグでは、放送内容が異なる場合があります。
- DTVメニューから設定するここでの設定は、放送自動切替の優先設定をするのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2 (〔Q-7〕) の**受信モード** をタッチして行なってください。
- 工場出荷時は**12セグ優先** に設定されています。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする

受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定することができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

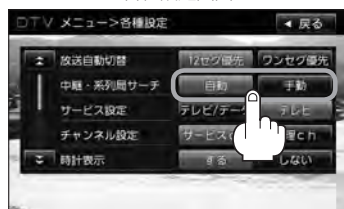
操作ボタン1表示画面(例)



DTVメニュー画面



各種設定画面



- 3 自動／手動の設定をする。

■ **自動** をタッチした場合

：自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチ続けます。

■ **手動** をタッチした場合

：放送局が受信できなくなった場合は、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。

「中継・系列局サーチをする」Q-13

手順 **1** アドバイス

- 4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

工場出荷時は **自動** に設定されています。

サービスの設定をする

独立データサービス(Gガイドなど)を選局するかどうかの設定をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。



- 2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



- 3 サービスの設定をする。

- **テレビ／データ** をタッチした場合

：テレビサービスと独立データサービスの両方を選局します。

- **テレビ** をタッチした場合

：テレビサービスのみ選局します。

※独立データサービスがあった場合、とばして選局します。



- 4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドハイス

- **テレビ** に設定した場合、番組表もテレビサービスのみ表示されます。
- データサービスは12セグの場合です。
- 工場出荷時は **テレビ** に設定されています。

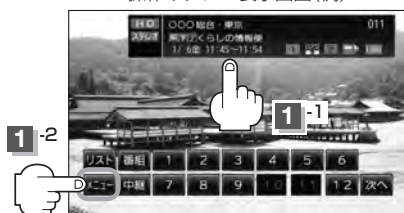
チャンネル設定

バーナー表示に表示されるチャンネル番号の表示を変えることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

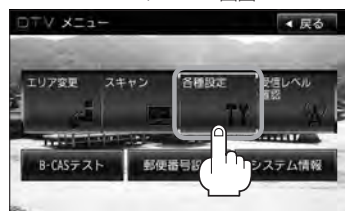
操作ボタン1表示画面(例)



- 2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面



時計表示設定

画面上に常に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。



- 2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



- 3 時計表示をするかどうかの設定をする。

■ 時計を表示させる場合

- ① **する** をタッチする。

：常に時計を表示します。

※テレビの全ての画面に時計が表示されます。



■ 時計を表示させない場合

- ① **しない** をタッチする。

：時計は表示されません。

- 4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

工場出荷時は **する** に設定されています。

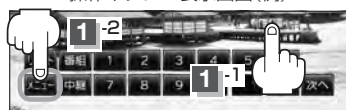
文字スーパーを切り替える

視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー**をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 **各種設定**をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面



- 3 **▼**をタッチし、表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**しない**)を選択する。

■ 文字スーパーを表示させる場合

第1言語 または **第2言語** をタッチする。

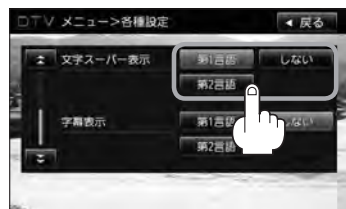
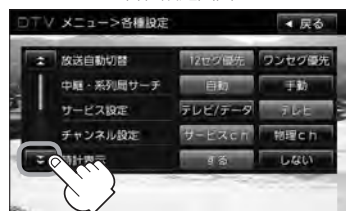
：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

しない をタッチする。

：文字スーパーは表示されません。

各種設定画面



映像
12セグ
受信

- 4 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバース

- 工場出荷時は**第1言語**に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。[**設定**]「**字幕表示を切り替える**」Q-38

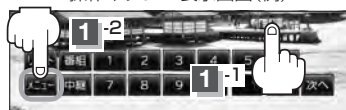
字幕表示を切り替える

映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー**をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

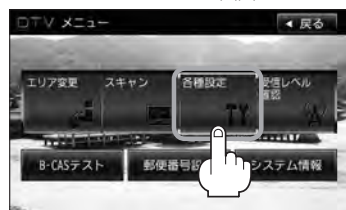
操作ボタン1表示画面(例)



- 2 **各種設定**をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面



- 3 **▼**をタッチし、表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**しない**)を選択する。

■ 字幕を表示させる場合

第1言語 または **第2言語** をタッチする。

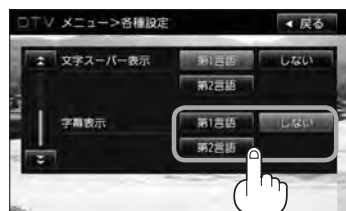
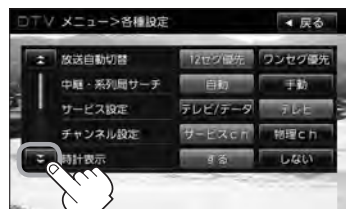
：選択した言語で字幕が表示されます。

■ 字幕を表示させない場合

しない をタッチする。

：字幕は表示されません。

各種設定画面

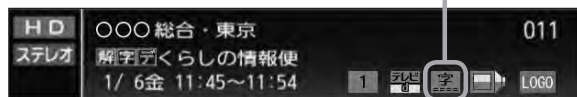


- 4 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバンス

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バナー表示を表示させたとき、字幕サービスがあると明るく表示されます。



- 番組によっては、字幕が音声より遅れて表示されます。
- 工場出荷時は **しない** に設定されています。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

- 1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

: DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2** **受信レベル確認** をタッチする。

: 受信レベル確認画面が表示されます。

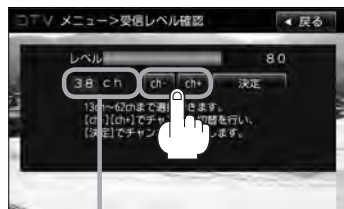
DTVメニュー画面



- 3** **ch-** / **ch+** をタッチする。

: タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13 ch~62 chの中から確認したいチャンネル
を選択してください。

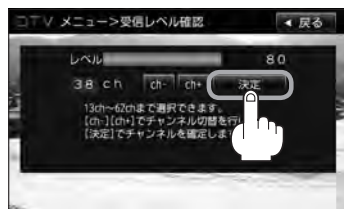
受信レベル確認画面(例)



チャンネル表示

- 4** **決定** をタッチする。

: チャンネルを確定し、レベルを確認することが
できます。また、確定したチャンネルの放送局が存
在すれば、その放送局を受信することができます。
(放送局が存在しない場合は受信できなくなり
ます。)



5

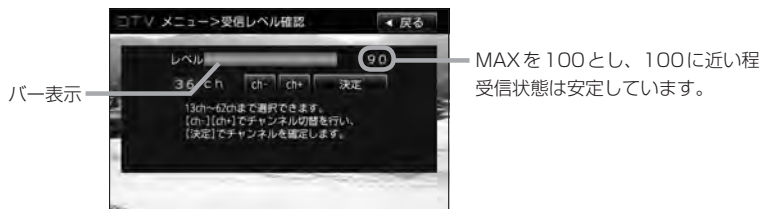
設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバース

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さや数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)



miniB-CASカードのテストをする

miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3 秒以上経ってからB-CASテストを行なってください。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

: DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

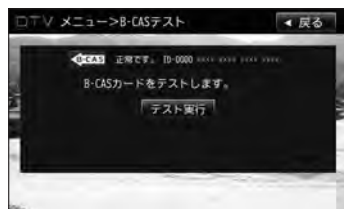
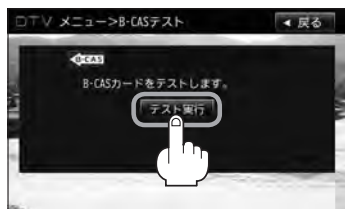


DTVメニュー画面



3

テスト実行 をタッチする。



: テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。

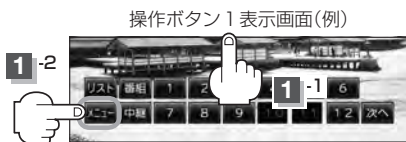
4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

放送局からのお知らせメールを見ることができます。

- 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。



- システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。



- 受信情報確認** をタッチする。

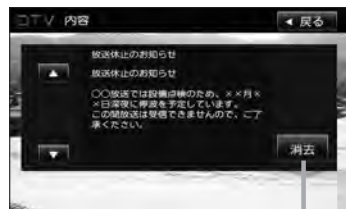
：情報一覧画面が表示されます。

※お知らせメールがない場合 **受信情報確認** は
選択できません



- 確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。



※次ページがある場合、**▲** / **▼**、**▲** / **▼**
タッチで戻り/送り表示することができます。

消去 をタッチすると選択中の
メールを消去することができます。

- 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は16件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- miniB-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

Q-44 設定を初期化する

本機のDigital TVモードの状態を初期化することができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー**をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 **システム情報**をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

DTVメニュー画面



- 3 **メモリ初期化**をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい**を画面に従ってタッチすると、設定内容を初期化します。

システム情報確認画面(例)



- 4 初期化が終わったら、車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII(ON)にし、電源を入れてください。



他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

データ放送は12セグのみ対応しています。

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。

「 郵便番号設定」Q-30

●データ放送には番組付加型と独立型があります。

番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などを提供

独立型データ放送………データのみを専門に放送

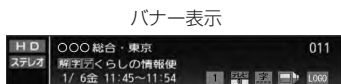
1

Q-20の手順に従って、番組付加型データ放送または独立型データ放送の放送局を選局する。

2

データ放送を見る。

※バナー表示に“”または“”と表示されます。



放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

■ 番組付加型データ放送を見る場合

① 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**次へ**をタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1(例)



② **d** をタッチする。

：データ放送画面が表示されます。

操作ボタン2(例)



データ放送を利用する

③ 色ボタン をタッチする。

データ放送画面(例)



※ボタンが消えた場合はQ-45
手順①に従って操作し、表示させ
てください。

④ 色ボタンを使って見たい項目を
選択し、決定 をタッチする。

データ放送画面(例)



アドバイス

- 番組により 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー) を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って、青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー) / 0 ~ 9 (10キー) (L/R Q-8) をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 操作ボタンを移動させたいときは 移動 をタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に **d** を数回タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

⑤ データ放送を終了するには、
d をタッチする。

データ放送画面(例)



：受信画面に戻ります。

※色ボタンを消すには **ボタン消** を
タッチしてください。



アドバイス

- 表示が " **データ放送** " のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が " **データ放送** " のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は "データ取得中" と表示されます。"d ボタンを押してください" と表示される番組もあります。
- 受信時に "d ボタンを押してください" と表示される番組では、**d** をタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d** をタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし **次へ** をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や **d** タッチでデータ放送の終了をしてください。

■ 独立型データ放送を見る場合

独立型データ放送では受信後のバーナー表示に
“データ”と表示されます。

データ放送画面(例)



① Q-45 手順①に従って操作し、

②のとき **色ボタン** をタッチする。

データ放送画面(例)



② 画面の色ボタンを使って見たい
項目を選択し、**決定** をタッチ
する。

データ放送画面(例)



アドバース

- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が出る番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じように **青** / **赤** / **緑** / **黄** (カラーキー) を使った画面(手順は上記参照)、数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って、カラーキー **青** / **赤** / **緑** / **黄** (カラーキー) や **0** ~ **9** (10キー) (L^{AD} Q-8) をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示に従ってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

リレーサービスの番組を見る

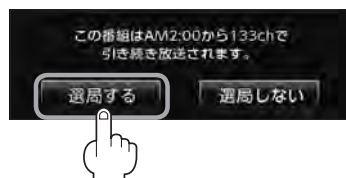
リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。

※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1

選局する をタッチする。

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



アドバイス

番組の続きを見ない場合は、**選局しない** をタッチしてください。

臨時サービスの番組を見る

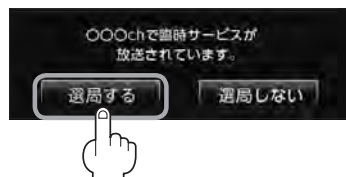
放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。

※臨時サービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1

選局する をタッチする。

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



■ 臨時放送が終了した場合

：臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

●臨時サービスは12セグのみのサービスです。

●番組の続きを見ない場合は、**選局しない** をタッチしてください。

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

- 「**現在地設定**」をしてください。

緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

☞ 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」 Q-14

受信中に緊急放送が始まると

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

緊急放送が始まりました。

■ 緊急放送が終了した場合

：緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TVモード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチを0(ロック)にしているときは緊急放送は受信できません。

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

メッセージ	エラーコード	本機の動作および処置
信号が受信できません。 中継局を探しますか？	〔E202〕	アンテナ線が外れているとき。 アンテナ線を確認してください。
		受信状態が悪く、番組を提示できないとき。 受信できる場所に移動してください。
現在、放送されていません。	〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT / PMT が取得できず) 視聴できるチャンネルを選択してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません。	〔E200〕	非放送サービスを受信したとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データが受信できません。	〔E400〕	データ放送の BML ドキュメントが取得できないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
この受信機ではデータを表示できません。	〔E401〕	データ放送の BML エンジンが、取得した BML ドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データの表示に失敗しました。	〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。 もう一度やりなおしてください。
現在、このチャンネルには放送局がありません。	〔E204〕	10 キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 存在するチャンネルを入力してください。
この受信機では、このチャンネルは受信できません。	〔E210〕	10 キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 対応しているチャンネルを入力してください。
アンテナ接続が異常接続です。	〔E209〕	アンテナ電源がショートしたとき。 アンテナ電源を確認してください。

R

VTRを使う

映像
V
T
R

各部の名称とはたらき R-2
接続する R-3

※操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。



① **ボタン消** ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。

② **Quick** ボタン

Quick 機能を使用することができます。

 B-19

※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

本機に別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

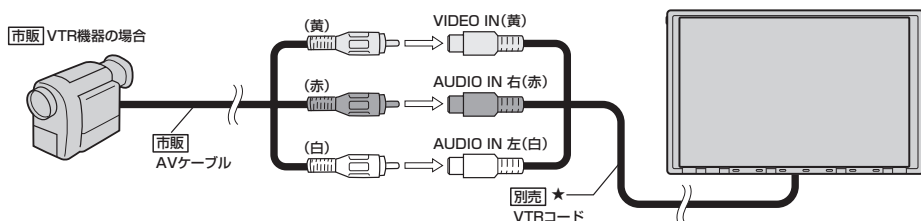
※出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。



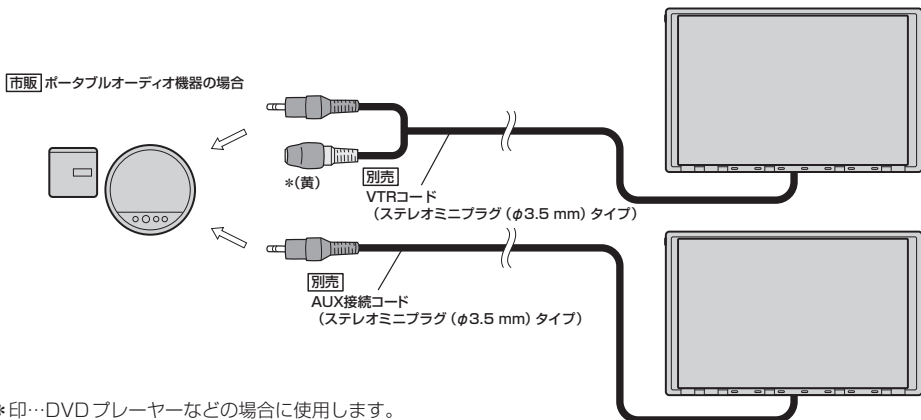
VTR 機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

機器を接続する。



★印…iPodを再生させるために、VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合はそちらを外してください。[E] N-4イラスト参照



* 印…DVD プレーヤーなどの場合に使用します。

2

本機と使用する機器の電源を入れる。

※車のエンジンスイッチをⅡ(ON)状態にします。

3

VTR 機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



お願い

本機の電源を OFF (H-9) または、エンジンスイッチ O (ロック) にする場合は、接続される機器の電源も一緒に OFF してください。



アドバイス

- 別売の AUX 接続コードを接続した場合の操作方法は、VTR モードから行なってください。
- VTR 端子から入力された映像や音声は VTR モードにすることにより見たり、聞くことができます。
- VTR の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- **[H-9]** 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 H-20
- **ボタン消** をタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV 入力端子 (RCA × 1 系統)

映像入力レベル 1 Vpp (入力インピーダンス 75 Ω)

音声最大入力レベル 2.0 V (入力インピーダンス 47k Ω)

- 接続する VTR 機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

S

ハンズフリーを使う

ハンズフリーについて	S-2
Bluetoothとは	S-2
ハンズフリーとは	S-2
音声について	S-2
安全上のご注意	S-2
使用上のご注意	S-3
初期登録設定	S-5
携帯電話を登録する	S-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	S-8
携帯電話の割り当てを切り替える	S-10
登録した携帯電話の自動接続を設定する	S-11
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	S-13
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	S-14
ハンズフリーの通話設定をする	S-15
デバイス名／パスキーを変更する	S-16
携帯電話のメモリを本機に登録する	S-18

電話を受ける	S-20
着信音量を調整する	S-20
電話に出る	S-20
保留にする	S-21
通話を拒否(終了)する	S-22
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	S-22
通話を携帯電話に切り替える	S-23
トーン入力する	S-24
電話をかける	S-25
電話番号から	S-25
リダイヤルから	S-27
履歴から	S-28
アドレス帳から	S-32
発着履歴を削除する	S-34
通話中に地図画面を表示する	S-35
QQ コールを利用する	S-36
QQ コールとは	S-36
QQ コールを利用するまでの流れ	S-36
QQ コールを表示する	S-36

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーのBluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
 [P]「初期登録設定」S-5
 初期登録後、自動接続“する”の場合は車のエンジンスイッチをⅠ（アクセサリ）またはⅡ（ON）にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth接続となります。



アドバース

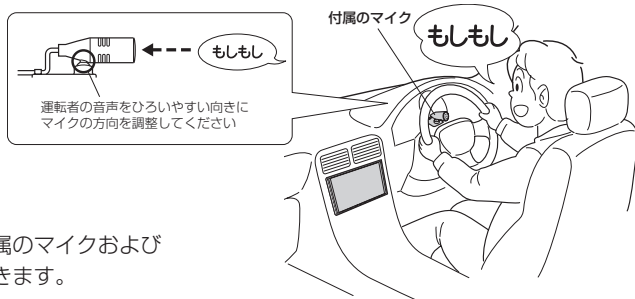
本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。



BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。



音声について

発信後および着信後は、本機に付属のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意



警告

- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけなおす」ことを伝え、安全な場所に停車してかけなおしてください。
- 電話（本機）を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全てのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合、心臓ペースメーカーなど装着部から22 cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 通話エリア外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのよう聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に本機の操作を行なった場合、内蔵マイクに直接振動が伝わり、相手に大きな音が伝わる(聞こえる)場合があります。

- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行なった場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
 - ・分解や改造をする
 - ・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、本機とBluetooth接続を行なうことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBluetooth接続を切断してください。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetoothの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行なってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。



アドバイス

携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/>

“Bluetooth対応携帯電話”を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるように設定してください。
※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲のBluetooth機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

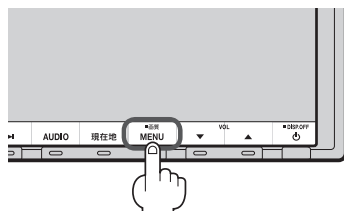
1

MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **携帯電話機器登録** をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※登録されている携帯電話が2台ある場合 **携帯電話機器登録** は選択できません。



*



QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合には表示されます。
* 印… **QQコール** をタッチすると、QQコールセンターの電話番号や現在のマップコードを表示することができます。[P]「QQコールを表示する」S-36

4

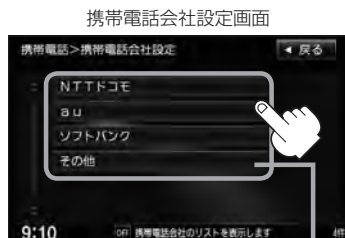
登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選択することで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行なわれます。

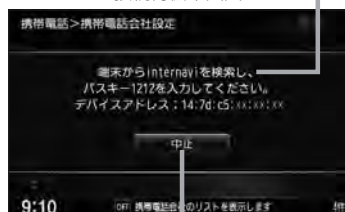
：接続待機中画面が表示されます。

すでに登録済(Bluetooth接続済)の携帯(番号)がある場合、その携帯(Bluetoothの接続)を切断するかどうかのメッセージが表示されるので「はい」を選択してください。

※「はい」を選択すると現在接続中の携帯との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。「いいえ」を選択した場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、Bluetoothに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)



接続待機中画面



※接続待機中に「中止」をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

*印…で使用する携帯電話がドコモ/au/ソフトバンク以外の場合、「その他」を選択してください。
本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/>

☆印…VXM-135VFNiの場合「internavi」。VXM-135VFNの場合「MY-CAR」と表示されます。

※この名称(デバイス名)やパスキーは変更可能です。[?]「(デバイス名/パスキーを変更する)」S-16

5

携帯電話を操作する。

※携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行なってください。操作方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様(Bluetooth Ver2.1以降)によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、「はい」をタッチすると登録が完了します。

登録完了メッセージ(例)

×××××を登録しました。

または

接続完了メッセージ(例)

携帯電話が接続されました。



アドバンス

- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられています。パスキーの入力はこの制限時間内に行なってください。
- パスキーとは、「Bluetooth対応携帯電話」を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。

[?]「(車載機(本機)のBluetooth情報を見る)」S-14

6

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



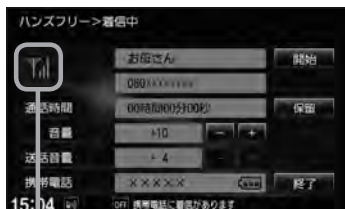
アドバイス

- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行なうことができます。
- 携帯電話は2台まで登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。

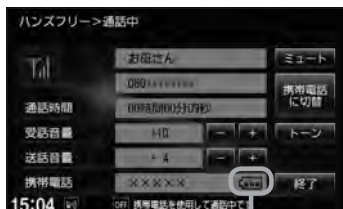


携帯電話のアイコン	意味
	割り当てられている携帯電話 (1 / 2) と電波状態 (アンテナ本数多い程良好)
	圏外 (電波は届いていません。)

携帯電話のアイコン
アンテナ3本：電波状態良好



着信／発信／通話中のとき電波状態を表示



電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)

また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

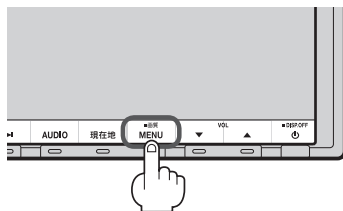
MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドバンス

DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



4

詳細情報を見るまたは削除する。

■ 詳細情報を見る場合

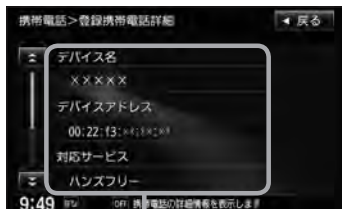
- ① 詳細情報を見たい携帯電話の **詳細** をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

登録携帯電話一覧画面(例)



詳細情報画面(例)



登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。

(デバイス名^{*1} / デバイスアドレス / 対応サービス^{*2} / 携帯電話会社 / 自局番号を表示)

* 1 印・・・携帯電話に設定されている名称を表示します。

* 2 印・・・登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では“_”(アンダーバー)で表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。(取得できなかった場合には“_”(ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する場合

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、HANDS FREE 画面に戻ります。



アドバイス

2 台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り 1 台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

登録携帯電話一覧画面(例)



ハンズフリー

5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は2台まで登録が可能です。常時接続できる携帯電話機は1台です。

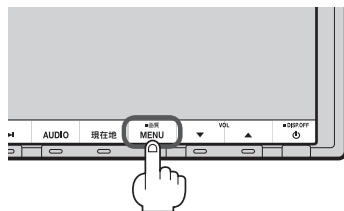
1

MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



4

割り当てたい携帯電話の**接続する**をタッチする。

：メッセージを表示しBluetooth接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、Bluetooth切断を行なったあとに割り当てを変更します。

登録携帯電話一覧画面(例)



5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

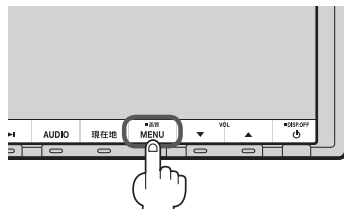
1

MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



ハンズフリー

4

自動接続の設定をする。

■ **する** をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続します。

■ **しない** をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しません。

※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行ないます。

登録携帯電話一覧画面(例)



“する”に設定した場合、

携帯電話が接続されました。

起動時にメッセージが表示されます。

5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末の Bluetooth 接続を OFF にしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

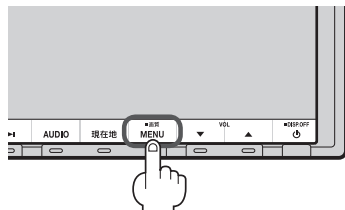
1

MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

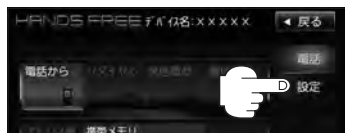


3

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



4

優先したい携帯電話の **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをI（アクセサリ）またはII（ON）にしたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると **優先する** は選択できません。【P. S-11 手順 4】

登録携帯電話一覧画面(例)



5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバンス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

1

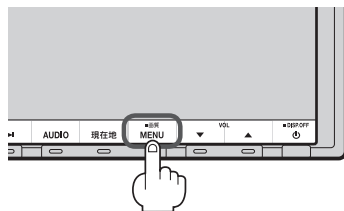
MENU をタッチする。

: AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドハイス

DVDモード時は **MENU** を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

: HANDS FREE画面が表示されます。



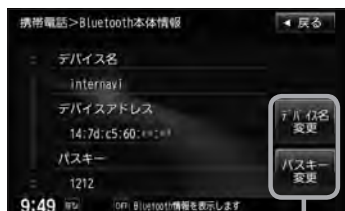
3

設定 → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

: Bluetooth本体情報画面が表示されます。



Bluetooth本体情報画面(例)



デバイス名/パスキーは変更することができます。

〔**設定**〕「**デバイス名/パスキーを変更する**」 S-16

4

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドハイス

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーの通話設定をする

発信音量と着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 発信音量・・・発信音の大きさ(+1～+15)
- 受話音量・・・通話先相手の声の大きさ(+1～+15)
- 送話音量・・・相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1～+7)

1

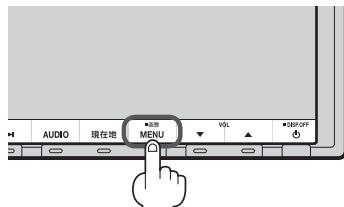
MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドバンス

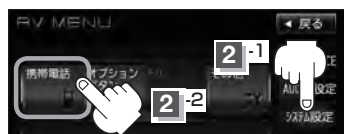
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



4

調整したい音量(発信音／受話／送話)の

- / **+** をタッチする。

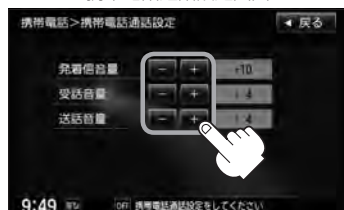
■ **-** をタッチした場合

：発信音／受話／送話音量が小さくなります。

■ **+** をタッチした場合

：発信音／受話／送話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバンス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話ください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中／発信中／通話中に調整することもできます。**[S-20]** 着信音量はS-20、発信音量／受話音量／送話音量はS-26 参照

デバイス名／パスキーを変更する

パスキーとは、Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するときに使用するパスワードです。
 (「**携帯電話を登録する**」S-6手順**4**参照)お互いのパスワードが一致して初めて通信(接続)可能となります。そのパスキーを変更したい場合は、下記手順に従って操作してください。

1

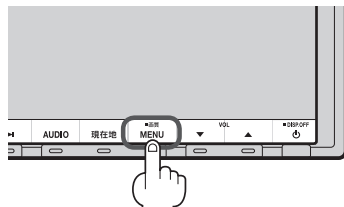
MENU をタッチする。

: AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アトハイス

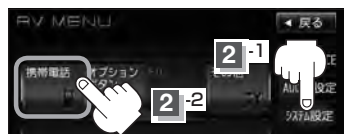
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

: HANDS FREE画面が表示されます。



3

設定 → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

: Bluetooth本体情報画面が表示されます。



4

デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する場合

① **デバイス名変更** をタッチする。



② 英数パレットよりデバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

カーソルの位置を移動します。



大文字↔小文字を切り替えます。

出荷時のデバイス名に戻すことができます。

: デバイス名は変更され、Bluetooth本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する場合

① **パスキー変更** をタッチする。



② 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。



: パスキーは変更されBluetooth
本体情報画面に戻ります。

5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバンス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1

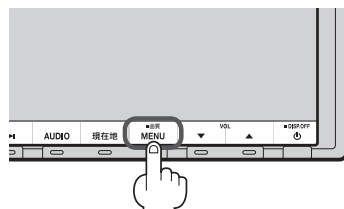
MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドバンス

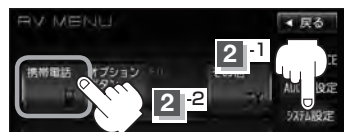
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

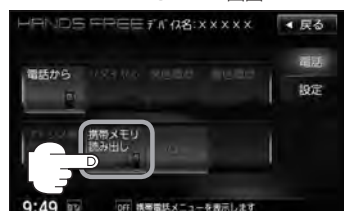


3

携帯メモリ読み出し をタッチする。

：メモリを読み出しているかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。

HANDS FREE画面

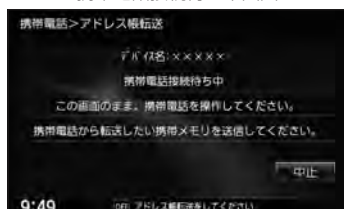


4

携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選択し、データ送信を開始させます。

携帯電話接続待ち中画面



：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

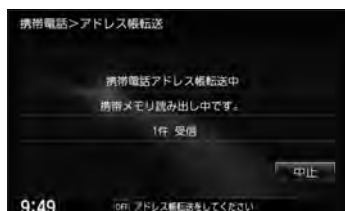
※選択したアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送／全件転送)



アドバンス

- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行なってください。
- アドレス帳のデータ送信やBluetoothの接続／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

■ 1件転送の場合



■ 全件転送の場合



追加保存するか上書き保存するか
選択してください。



アドバイス

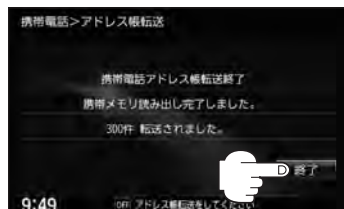
本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録しなおしてください。

5

読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、**終了**をタッチする。

: HANDS FREE画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面



アドバイス

- **中止** をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。
- メモリ読み出し中に着信があった場合、Bluetooth接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前:全角9文字まで/よみ:半角18文字まで/電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 **4** (S-18)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 着信音が鳴っているときに、**−**／**+**をタッチして音量を調整する。

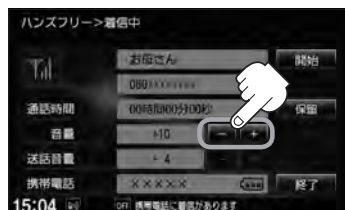
■ **−** をタッチした場合

：着信音量が小さくなります。

■ **+** をタッチした場合

：着信音量が大きくなります。

着信通知画面(例)



アドバイス

携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

☞ 「ハンズフリーの通話設定をする」 S-15

電話に出る

1 **開始** をタッチする。

：通話可能となります。



アドバイス

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。

- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。

☞ 「ハンズフリーの通話設定をする」 S-15

- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
- 携帯電話は、2台の接続が可能です但同时に2台の発信／着信はできません。
※発信／着信は1台のみとなります。

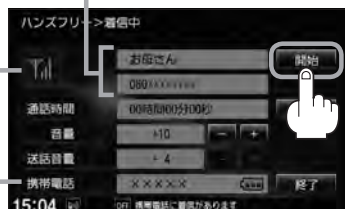
着信中のアドレス情報を表示＊

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前／下段に番号が表示されます。)

着信通知画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の名称と電池残量を表示



＊印・・・名前登録がない場合は、上段に番号のみ表示されます。☞ S-26手順 **5** アドバイス参考

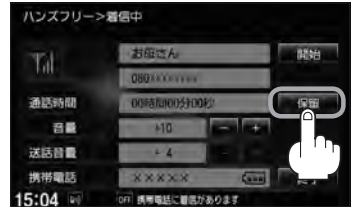
保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、**保留**をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

着信通知画面(例)



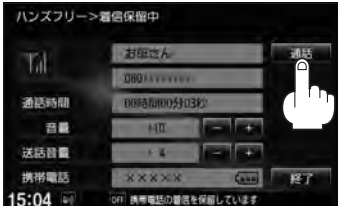
アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に **終了** をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
- ※ 対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

■ 通話できる状態になった場合

① **通話** をタッチする。

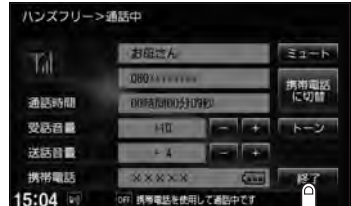
着信保留画面(例)



：通話可能となります。

② 通話が終わったら **終了** をタッチする。

通話中画面(例)



：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

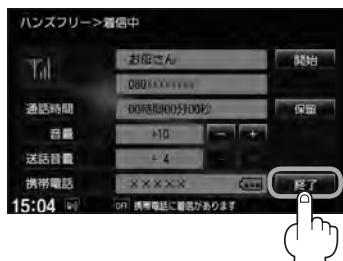
通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で **終了** をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。

着信通知画面



通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

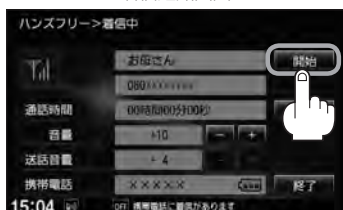
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。

※相手の声は聞こえます。

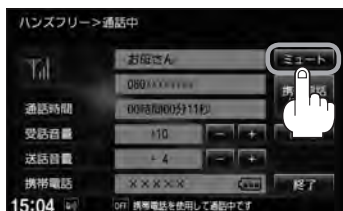
1 着信通知画面で **開始** をタッチして通話しているときに、**ミュート** をタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)

着信通知画面



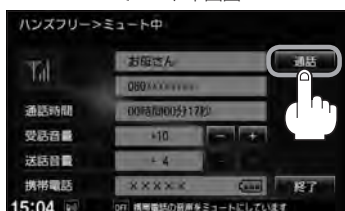
通話中画面



■ 再びこちらの音声を出す場合

① **通話** をタッチする。

ミュート中画面



：自分の声が相手に聞こえます。

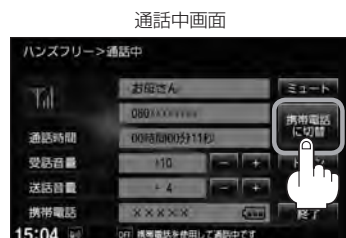
通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1

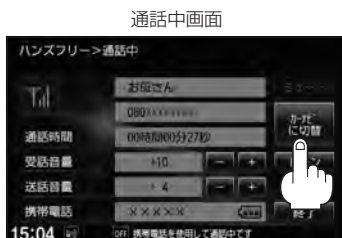
通話中画面で **携帯電話に切替** をタッチする。

: 切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

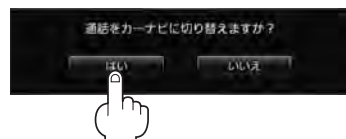


■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で **カーナビに切替** をタッチする。



ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。



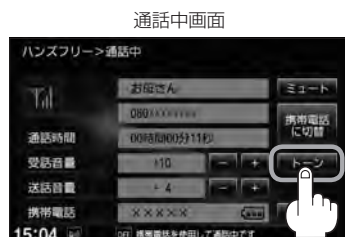
: 通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。



2 入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。

：タッチすることによりトーン信号情報を携帯電話に送信します。



アドハイス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。

警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法(電話番号／リダイヤル／履歴／アドレス帳／施設の詳細＊／登録地点詳細＊)で電話をかけることができます。＊印… C-5、F-39

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

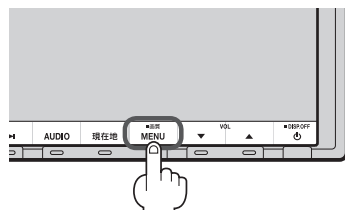
1

MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



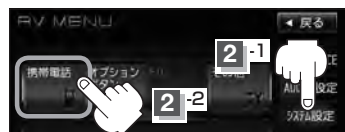
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

電話 → **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

※相手の電話番号は、下記の電話番号入力画面より入力してください。



4

相手の電話番号を入力し、

発信 をタッチする。

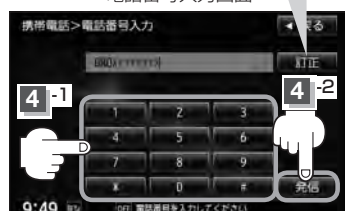
：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。
入力した番号が25桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** または **いいえ** を選択してください。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合、携帯電話側の仕様をご確認ください。

- 入力した数字を1つ訂正する場合 **訂正** をタッチする。
- 全ての数字を訂正する場合 **訂正** を1.5秒以上タッチする。

電話番号入力画面



電話をかける

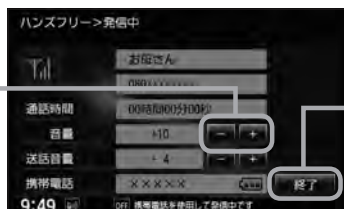


アドバイス

発信中画面で

発信中画面

－／＋ タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。



終了 をタッチすると発信を中止することができます。

5

通話が終わったら **終了** をタッチする。

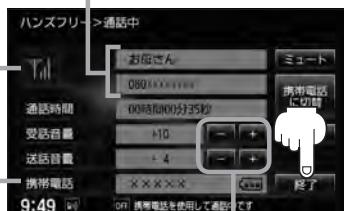
：電話が切れます。

通話中のアドレス情報を表示*
(アドレス帳に名前登録がある場合は
上段に名前/下段に番号が表示されます。)

通話中画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の
名称と電池残量を表示



通話中に **－／＋** をタッチすると受話音量または送話音量が増減します。

- 受話音量…通話相手の声の大きさ
- 送話音量…相手に聞こえる自分の声の大きさ



アドバイス

*印…アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示されます。

番号のみ表示



アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。

〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕

- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選択(☞ S-25 手順 3) することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は、☞ S-23 を参照ください。

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

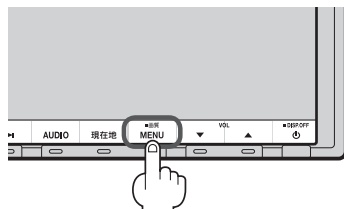
1

MENU をタッチする。

: AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は **MENU** を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

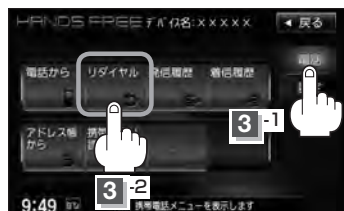
: HANDS FREE画面が表示されます。



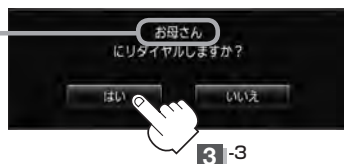
3

電話 → **リダイヤル** をタッチする。

: リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。



アドレス帳に名前登録がない場合は、番号が表示されます。



発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 **リダイヤル** は選択できません。

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1

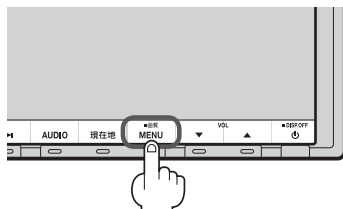
MENU をタッチする。

： AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドバイス

DVDモード時は **MENU** を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

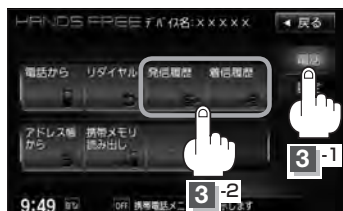
： HANDS FREE画面が表示されます。



3

電話 → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。



アドバイス

発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選択できません。

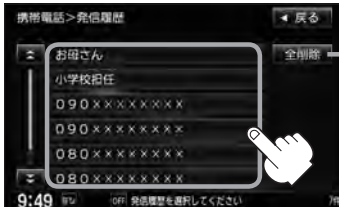
■ 発信履歴からかける場合

本機から電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面(例)



全削除 をタッチし、**はい** を選択すると発信履歴を一括で削除することができます。
 [S-34]



アドバイス

- 本機に発信履歴がない場合 **発信履歴** は選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名/地点名は表示されません。)
- 携帯電話本体を操作して発信を行なった場合には、本機の発信履歴には保存されません。

② **発信** をタッチする。

発信履歴詳細画面(例)



削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の発信履歴を削除することができます。
 ※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
 [「発着履歴を削除する」S-34]

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面([S-26のアドバイス参考])を表示し、相手につながると通話中画面([S-26の手順5参考])になります。



アドバイス

* 印…アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

登録されている名前が表示されます。



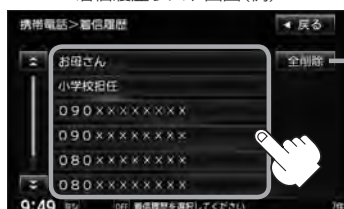
■ 着信履歴からかける場合

携帯電話接続中に電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が本機の着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示される場合もあります。

① リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

着信履歴リスト画面(例)



全削除 をタッチし、**はい** を選択すると着信履歴を一括で削除します。
 [P. S-34]

：着信履歴詳細画面が表示されます。



アドバース

- 本機に着信履歴がない場合 **着信履歴** は選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② **発信** をタッチする。

着信履歴詳細画面(例)



削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の着信履歴を削除することができます。
 ※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
 [P. 「発着履歴を削除する」 S-34]

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面を表示し、相手につなげると通話中画面になります。



アドバース

- ※ 印… アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

登録されている名前が表示されます。



4

通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

* 印…アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示されます。

通話中画面(例)

*



アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。



アドバース

アドレス帳から電話をかけるにはあらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1

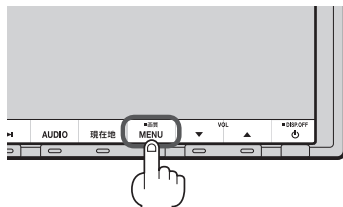
MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



アドバース

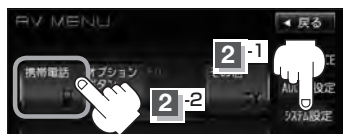
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

システム設定 → **携帯電話** をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。



3

電話 → **アドレス帳から** をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 **アドレス帳から** は選択できません。



4

名前またはメモリ番号から電話をかける。

■ 名前からかける場合

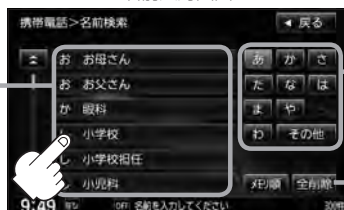
本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選択する。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

名前入力画面

名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示



名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選択できない文字は暗くなります。)

全削除 をタッチすると登録されている全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。



アドバース

携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

■ メモリ番号からかける場合

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

① **メモリ順** をタッチする。

：メモリ番号検索画面が表示されます。

名前入力画面

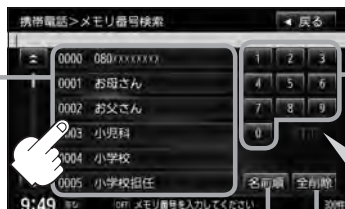


② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選択する。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

メモリ番号
検索画面

メモリ番号は携帯から転送された順番にリストの上から表示されます。



数字をタッチしてメモリ番号を入力し、リスト上に呼び出すこともできます。

入力した数字を1つ訂正する場合

訂正 をタッチします。

全ての数字を訂正する場合

訂正 を 1.5 秒以上タッチします。

名前入力画面に戻すには **名前順** をタッチします。

全削除 をタッチすると全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

5

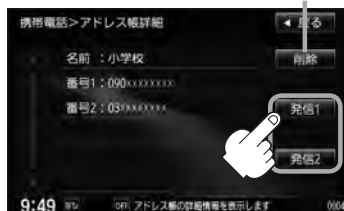
詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、

発信1 または **発信2** をタッチする。

：電話してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると(相手先の)番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞ S-26 上段アドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ S-26 手順 **5** 参照)になります。

アドレス帳詳細情報画面



* 印… **削除** をタッチし、**はい** を選択すると選択中の名前(アドレス)を削除することができます。

S-34 発着履歴を削除する

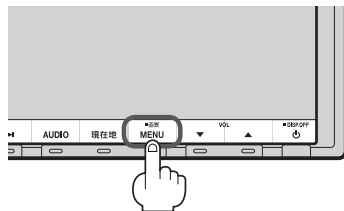
発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1 MENU をタッチする。

： AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



DVDモード時は **MENU** を2回タッチします。



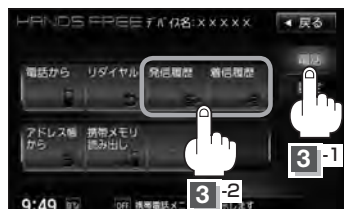
2 システム設定 → 携帯電話 をタッチする。

： HANDS FREE画面が表示されます。



3 電話 → 発信履歴 / 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。



4 全削除 をタッチする。

： 全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

着信履歴リスト画面(例)



“Bluetooth対応携帯電話”を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1 通話中に **現在地** をタッチする。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。



ナビゲーション画面

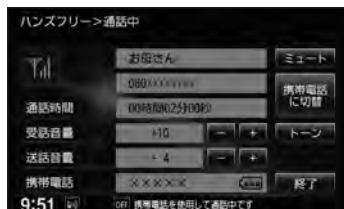


■ 再び通話中画面にする場合

① **MENU** → **システム設定** → **携帯電話** をタッチする。



通話中画面(例)



：通話中画面に戻ります。



アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

QQ コールとは

「QQ コール」とは、QQ コール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。

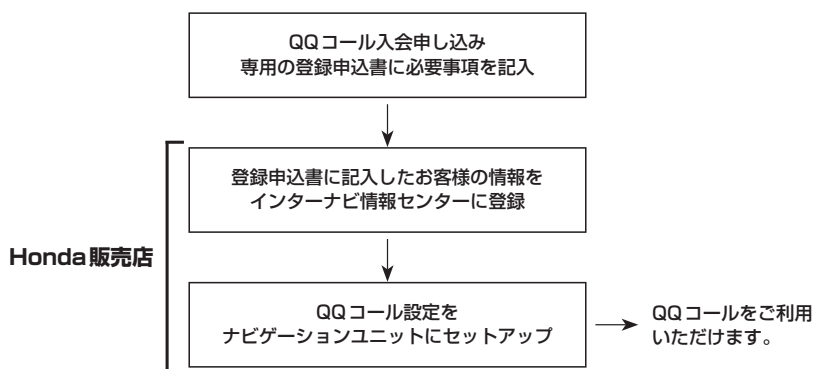
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQ コール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQ コールの紹介ページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/qccall/>

QQ コールを利用するまでの流れ

QQ コールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQ コールを表示する

QQ コールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQ コール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU → **システム設定** → **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



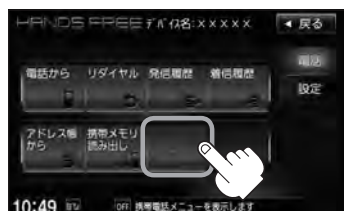
DVDモード時は**MENU**を2回タッチします。



2

QQ コール をタッチする。

: QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。



3

QQ コールセンターへ電話をかける。

: オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機に
Bluetooth 接続されている場合

① **発信** をタッチする。

※走行中は **発信** はタッチできません。

現在地のマップコード



※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、**通話終了** を
タッチする。

■ 携帯電話が本機に
Bluetooth 接続されていない場合

① お手持ちの携帯電話を使用して表示
されている番号に電話をかける。

電話番号



現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話
を切る。



アドバイス

- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
 - ・ 地図表示(方位)の切り替え
 - ・ 地図の拡大／縮小
 - ・ 地図スクロール
 - ・ オーディオモードの音量調整
 - ・ オーディオモード(AV電源)のON／OFF
- 走行中はQQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQ コール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

Bluetooth接続時のQQ コール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

T

その他

画質調整のしかた	T-2
ディスプレイ選択	T-4
昼夜切替をする	T-4
画質調整を初期値に戻す	T-5
音声はそのまま画面を消す	T-6
標準キーの照明について	T-7
初期設定一覧	T-8
個人情報の取り扱いについて	T-11
リア席モニターについて	T-12
画像ファイル(JPEG)について	T-13
データベースについて	T-14
オーディオ リモコン スイッチ	T-16
Digital TVのチャンネル一覧	T-18
地図ソフトについて	T-20
出発地・経由地・目的地の設定について	T-24
経由地、目的地の設定の注意点	T-24
ルート案内時の注意点	T-26
地図に表示される記号	T-30
市街地図(10m/25m/50m/ 100mスケール)の収録エリア	T-32
VICSについてのお問い合わせ	T-36
VICSの概要	T-36
VICS 情報有料放送サービス契約約款	T-38
VICS 削除リンクに関する告知	T-39
故障かな?と思ったら	T-40
メッセージ表示について	T-59
用語説明	T-65
構成内容	T-70
主な仕様	T-71
別売品(システムアップ)について	T-72
保証/アフターサービスについて	T-73

T-2 画質調整のしかた

- ナビゲーション画面／AV SOURCE画面／FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod(音声再生のみ)／SDモードの場合、明るさ／コントラスト調整ができます。
- DVD／Digital TV／VTRモード／iPod(映像あり)画面の場合、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。(ただし走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に標準装備または別売のリアカメラ／リアワイドカメラ、別売のフロントカメラ、コーナercameraを接続している場合、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。



アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーション画面／FM／AM／CD／MP3／WMA／USB／iPod(音声再生のみ)／SDモードの画面と、カメラ映像、DVD画面、ワンセグ画面、VTR、iPod(映像あり)画面で別々に調整することができます。
- **携帯電話** タッチ後(ハンズフリー機能)は、**[MENU]**を2秒以上タッチしても画質調整を行なうことはできません。(画質調整画面は表示されません。)画質調整は、ハンズフリー機能画面以外で行なってください。
※リアカメラ設定画面(**[F]** G-21)でも画質調整を行なうことはできません。

1

[MENU]を2秒以上タッチする。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※DVD／VTR／iPod(映像あり)モードの場合は下記手順**2**へ、その他の場合は下記手順**3**へ進んでください。

2

画質調整をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面に表示される映像の大きさを変更することができます。

[F] **[ディスプレイ選択]** T-4

画面調整画面(例)



3

調整したい項目(**明るさ**／**コントラスト**／**色の濃さ**／**色合い**)をタッチする。

画質調整画面(例)



画質調整画面(例)



画面の輝度を切り替えることができます。

[F] **[「昼夜切替をする」]** T-4

4

◀ / ▶ をタッチして値を調整する。



アドバイス

調整は ◀ または ▶ をタッチしつづけると素早く調整できます。

タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

画質調整画面(例)



■ 明るさ(1～31)調整の場合

① ◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

① ◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

① ◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

① ◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

その他

5

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

ディスプレイ選択

(DVD/VTR/iPod(映像あり)モード画面の場合)

1

手順**1**( T-2)で画面調整画面を表示させ、ノーマル/フル/ワイド/シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面(例)



- ノーマル : 4:3の映像の画面
- フル : 4:3の映像を左右に引き伸ばし、16:9にした画面
- ワイド : “フル”の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4:3の映像をそのまま拡大した画面



アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなることがあります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても表示は確認できません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

昼夜切替をする

画面の輝度を昼(通常)/夜(減光)と切り替えることができます。

1

画質調整画面( T-2手順**3**)で**昼夜切替**をタッチする。

: タッチするたびに昼/夜と画面の輝度が切り替わります。

画質調整画面(例)



昼(通常)



夜(減光)



アドバイス

- 昼…車のライトを消しているとき(OFF時)と同じ輝度となります。
- 夜…車のライトをつけているとき(ON時)と同じ輝度となります。
- 車のライトをON/OFFした場合、昼/夜も連動して切り替わります。

画質調整を初期値に戻す

手順 **3**、**4** (LSP T-2、T-3) で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)の値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1

画質調整画面で **初期値** をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)



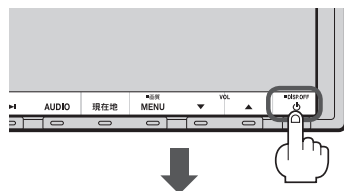
音声はそのまま画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

 を2秒以上タッチする。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

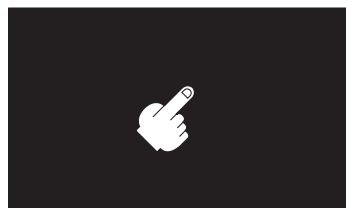


■ 再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、

再度  をタッチする。

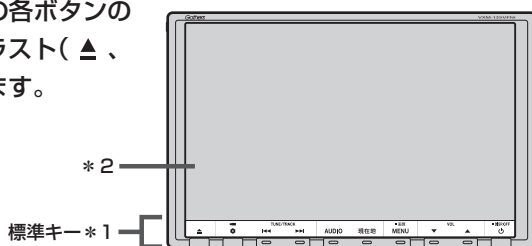
：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



アドバンス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、 を2秒以上タッチしても画面を消すことはできません。

車のライトをONにすると、標準キーの各ボタンの文字(現在地、MENU、AUDIO)やイラスト(▲、●、⏮ ⏭、▼ ▲、⏻)が減光します。



* 1 印…標準キーの各ボタンのはたらきにつきましては、[B-2](#)を参照ください。

* 2 印…画面全体の輝度切替につきましては、[T-4](#)を参照ください。

T-8 初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

●ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝100 m	
	右画面	北方向を上 スケール＝400 m	
CZMZK00000	自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、 渋滞予測回避、再探索、地点を登録、周辺施設、 右画面表示、昼夜切替、道路切替		
情報	FM多重	受信番組設定	交通情報番組(VICS)
		周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
報	エコドライブ設定	急加減速のお知らせ＝する エコ速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝しない 評価履歴＝残す 評価レベル＝初級 エコドライブ表示＝しない	
設定	地図表示	[メイン画面の設定] 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10 目盛中左から 1 目盛目	
		[右画面の設定] 右画面に地図表示＝しない 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10 目盛中左から 1 目盛目	
		[地図色設定] 昼夜切り替え＝時間連動 地図切り替え＝ノーマル 標高地図色＝季節連動	
		[情報バー表示の設定] MAPCODE を表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO 情報を表示＝しない	
		[その他の設定] 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する 右画面 AV を表示＝しない	

設定	ルート案内	全ルートの表示＝する 交差点情報の表示＝する ルート色の表示＝ピンク ETCレーンの表示＝する ルート情報の表示＝しない ハイウェイモードの表示＝する JCT ビューの表示＝する 交差点拡大図の表示＝する リアル 3D 表示＝する 方面看板の表示＝する AV 画面中の案内割込み＝する 右画面 AV 中の案内割込み＝する 盗難多発地点案内＝しない 目的地方向を表示＝しない	
	ランドマーク	カーディーラー＝Honda Cars 店	
	現在地(カーマーク)	矢印	
	音声案内	合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝ON 高速走行時の音声切替＝ON VICS 案内＝ON 案内音量＝15 目盛中左から 7 目盛目	
	探索条件	探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマート IC を利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS 自動再探索＝する VICS 情報を考慮＝する★ internavi 交通情報を考慮＝する☆ 統計交通情報を考慮＝する	
到着予想	VICS	一般道＝ON 駐車場＝ON 渋滞無し＝OFF 点滅＝ON	有料道＝ON 規制＝ON 渋滞混雑＝ON
	到着予想	平均時速を自動で設定＝する ※平均時速を自動で設定「しない」にすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。 一般道路＝30 km/h 国道＝40 km/h 有料道路＝80 km/h	
	走行軌跡	軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし	

☆印…VXM-135VFNi の場合
★印…VXM-135VFN の場合

● 音量調整 [P H-19]

音量 = 3

● 画質調整 [P T-2]

明るさ

・イルミ^{*1} OFF時 = 25(ナビ、カメラ映像^{*2} 共通)・イルミ^{*1} ON時 = 12(ナビ、カメラ映像^{*2} 共通)

※フロント／コーナーカメラは 16

コントラスト = 16(ナビ、カメラ映像^{*2} 共通)色の濃さ = 16(カメラ映像^{*2})色合い = 16(カメラ映像^{*2})

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。

※1 印…イルミ=イルミネーション

※2 印…カメラ映像=リアカメラ・フロントカメラ・
コーナーカメラ

● USB／SD [P M-13、O-11、H-14、H-21]

選曲モード=全曲

再生モード=未選択

モード切替=音楽ファイル

● 音場設定 [P H-24]

OFF

※DSP選択時=HALL

SRS CS AUTO = FOCUS

● イコライザー設定 [P H-27]

OFF

● スピーカー設定 [P H-29]

フロント= LARGE

リア= LARGE

● フェード・バランス調整 [P H-31]

各項目の調整値 = 0

● 車速連動音量 [P H-33]

設定 = MIDDLE

● 録音 [P I-4、I-7]

録音 = 自動録音

録音音質 = 高音質モード

● FM／AM(ラジオ) [P J-1]

FM／AM = FMモード

FM周波数 = 76.0 MHz

AM周波数 = 522 kHz

交通情報 = 1620 kHz

● Music Rack [P L-7、H-14]

選曲モード=全曲

再生モード=未選択

● iPod [P N-8、H-14、N-14]

選曲モード=全曲

再生モード=未選択

モード切替=ミュージックモード

● DVD [P P-21]

音声言語=日本語

メニュー言語=日本語

字幕言語=日本語

ダイナミックレンジ圧縮 = OFF

モニター設定=ワイド

視聴制限レベル=制限なし

● Digital TV [P Q-1]

エリア変更=自動

視聴エリア=東京

プリセット登録(**1** ~ **12** (エリア)) = 登録済(東京)

チャンネルリスト = 登録済(東京)

プリセットリスト = 未登録

番組表 = 3 ch 表示

郵便番号設定 = 未設定

各種設定

放送自動切替 = 12 セグ優先

中継・系列局サーチ = 自動

サービス設定 = テレビ

チャンネル設定 = サービスch

時計表示 = する

文字スーパー表示 = 第1言語

字幕表示 = しない

● ハンズフリー [P S-1]

パスキー = 1212

発着信音量 = + 10

受話音量 = + 10

送話音量 = + 4

自動接続 = する

デバイス名 = internavi[☆] / MY-CAR[★]

☆印…VXM-135VFNiの場合

★印…VXM-135VFNの場合

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

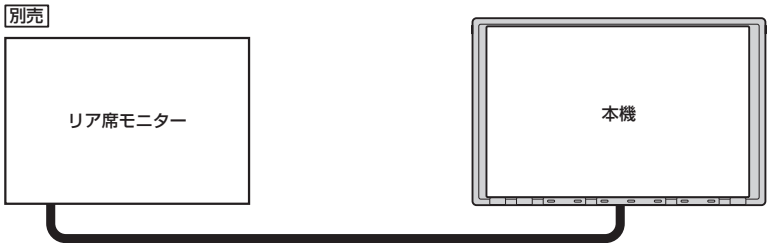
■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞ 「データを初期化(消去)する」 G-28

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- 本機の Music Rack に録音した音楽データの削除
☞ 「音楽データを初期化する」
I-12 の手順 **3** で **音楽データ初期化** を選択決定
- 本機にアップデートした Gracenote データベースのデータの削除
☞ 「Gracenote データベースのデータを初期化する」
I-20 の手順 **3** で **初期化** を選択決定
- 本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除
☞ 「設定を初期化する」 Q-44
- 本機から発信または本機に着信した電話の履歴情報の削除
☞ 「発着履歴を削除する」 S-34
- 本機に転送したアドレス帳の情報の削除
☞ 「**アドレス帳から**」 S-32 の手順 **4** で **全削除** を選択決定
☞ 「発着履歴を削除する」 S-34 の手順 **4** で **全削除** を選択決定

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊などの使い方ができます。
＊印…DVDの音声の本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受信できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機のパネル		本機に 表示される画面	リア席モニターに 表示される画面
ナビ	—	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV (iPodビデオ／VTR)	ナビ	Digital TV (iPodビデオ／VTR)
Digital TV (iPodビデオ／VTR)	—	Digital TV (iPodビデオ／VTR)	Digital TV (iPodビデオ／VTR)
DVD	—	DVD	DVD
ナビ	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	ナビ	表示されません
FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	—	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	表示されません

※ Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。



アドバイス

- オーディオモードを終了(OFF状態)にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行います。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。

- SD／USBモードのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。
[P]「動作モード(音楽／画像)を切り替える」H-21
- 再生可能なJPEG ファイルについて

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEG ファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

T-14 データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote[®]社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote[®]社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-2012 Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-2012 Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote、CDDb、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote[®]によって提供されます。Gracenote[®]は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。



「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● Gracenote データベースのご利用について

Gracenote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

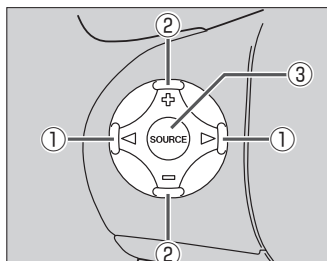
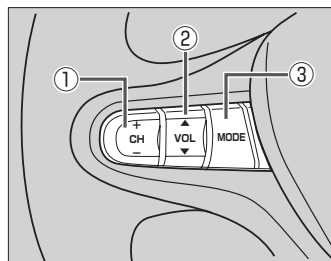
Gracenote のサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote [プライバシーポリシー](#)を参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

運転中にオーディオの操作するためのスイッチです。

イラストはイメージ図です。



車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH- / CH+ スイッチ、◀ / ▶ スイッチ

■ ラジオを聞いている / Digital TV を見ている場合

CH+ / ▶ を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。

CH+ / CH- を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ MP3 / WMA / AAC ファイル (CD・DVD* / SD / USB) を聞いている場合

CH+ / ▶ を押す。：スキップ(次の曲の頭出し)します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。

CH+ を長く押す。：フォルダアップします。

CH- を長く押す。：フォルダダウンします。

*印…CD・DVDでのAAC再生はできません。

■ CD / Music Rack / iPod を聞いている場合

CH+ / ▶ を押す。：スキップ(次の曲の頭出し)します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

■ DVD を見ている場合

CH+ / ▶ を押す。：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

② VOL▲ / VOL▼ スイッチ、 [+] / [-] スイッチ

VOL▲ / [+] を押す。: 音量が大きくなります。

VOL▼ / [-] を押す。: 音量が小さくなります。

VOL▲ / [+] を長く押す。: 連続して音量が大きくなります。

VOL▼ / [-] を長く押す。: 連続して音量が小さくなります。

③ MODE 、 SOURCE スイッチ

スイッチを押すたびに、下記のようにモードが切り替わります。

スイッチを押すたびに、

FM → AM → CD/DVD → Music Rack → USB*1 → VTR*3 → Digital TV ← SD ← iPod*2 と切り替わります。

* 1 印…USBの接続方法につきましては「USB機器を接続する」M-5を参照ください。

* 2 印…iPodの接続方法につきましては「iPodを本機に接続する」N-4を参照ください。

* 3 印…VTRの接続方法につきましては「接続する」R-3を参照ください。

※ USBとiPodは同時に接続できません。

※ iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。



アドハイス

- オーディオモード ↔ ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の **AUDIO** ↔ **現在地** をタッチして切り替えてください。

- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。

- 以下の場合はそのモードを飛ばします。

- ・ディスク、SDカード未挿入、USB / iPod / VTR未接続

地域設定で選択された地域の、エリア番号と放送局の組み合わせは、下記ようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。

割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。

一度放送局を受信(視聴)すると、最新の放送局名が表示されます。

※放送局側の都合により放送局名など変更になる場合があります。

表のみかた

徳島	お住まいの地域
① 四国放送	エリア番号
2 NHKEテレ徳島	放送局名
3 NHK総合 徳島	

(2012年2月現在)

お住まいの地域	北海道(函館)	北海道(札幌)	北海道(室蘭)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ函館 3 NHK総合 函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ札幌 3 NHK総合 札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ室蘭 3 NHK総合 室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ旭川 3 NHK総合 旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ帯広 3 NHK総合 帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ北見 3 NHK総合 北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道(釧路)	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ釧路 3 NHK総合 釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHKEテレ青森 3 NHK総合 青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 7 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合 秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合 山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合 盛岡 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 BCBテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHKEテレ仙台 3 NHK総合 仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合 福島 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合 甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS山梨放送 5 YTS山梨テレビ 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合 水戸 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合 東京 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合 福井 2 NHKEテレ福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合 金沢 1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ富山 3 NHK総合 富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

Digital TVのチャンネル一覧

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHKEテレ新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHKEテレ静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合・神戸 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・京都 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大阪 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大津 2 NHKEテレ大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・奈良 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合・松山 2 NHKEテレ松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合・高知 2 NHKEテレ高知 4 高知放送 7 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合・高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHKEテレ徳島 3 NHK総合・徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ松江 3 NHK総合・松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合・広島 2 NHKEテレ広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ鳥取 3 NHK総合・鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合・長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB北九州国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合・熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ福岡 2 NHKEテレビ北九州 3 NHK総合・福岡 3 NHK総合・北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレビ大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHKEテレビ宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHKEテレビ鹿児島 3 NHK総合・鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・沖縄 2 NHKEテレビ沖縄 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ (OTV)

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本機」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器 1 台に限り本ソフトを使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内、料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 弊社は、本ソフトに関する損害賠償責任を、一切負わないこと。
 - (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください) **警告**

運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招く恐れがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突される恐れがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招く恐れがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります。交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招く恐れがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-418号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認 11-080)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2011年11月のものを使用しています。
-  **vics**® は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。

- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2011年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2011年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆ 3D交差点……………ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
(約1770交差点、約5680画像)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ ジャンクションビュー……………ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。(約4000ヶ所、約8000方面)
 - ◆ 方面看板……………ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2011年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2011年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。(予測データ提供元：NTTデータ 予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター)
なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては渋滞統計情報が表示されない場合があります。

- VICS リンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
- ※本ソフトの収録エリアには2012年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

(財) 道路交通情報通信システムセンター サービス・サポート・センター

電話番号：0570-00-8831

受付時間：9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

FAX 番号：03-3562-1719(24時間受付)

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2011年12月(高速・有料道路)／2011年9月(国道・都道府県道)

■交通規制^{※1}：2011年11月

■住所検索：2011年11月

■電話番号検索：2011年11月

■個人宅電話番号検索：2011年10月

■郵便番号検索：2011年11月

■ジャンル検索：2011年10月

■高速・有料道路料金^{※2}：2011年12月

■市街地図：2011年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません

【VICS レベル3 対応データ収録エリア】 全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2012年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

地図についてのお問い合わせ先

株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・自動車電話・PHSからでもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

2012年5月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2011 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

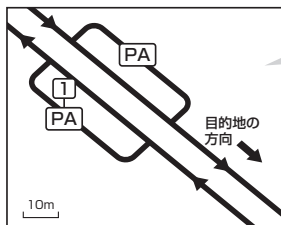
© 2012 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

経由地、目的地の設定の注意点

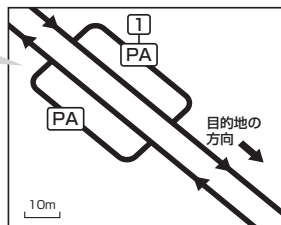
通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。

最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



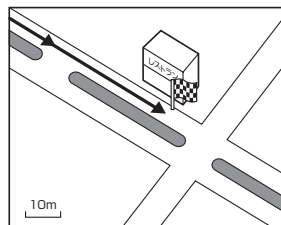
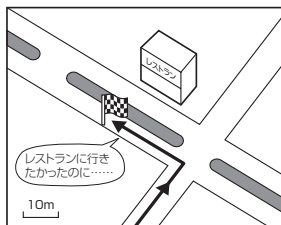
最詳細地図で
見てみると…



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

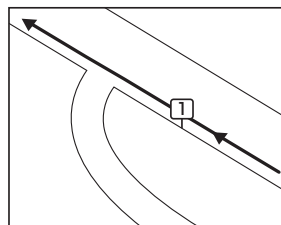
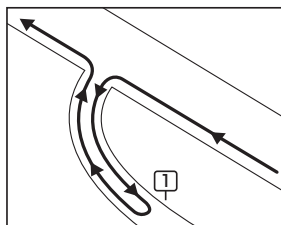
例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

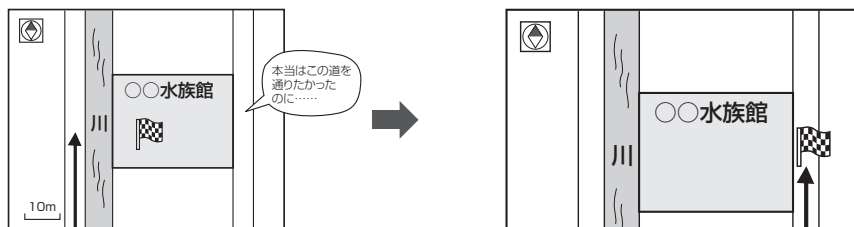
例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
(駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選択しなかった場合)



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路の上に設定してください。



アドバイス

出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

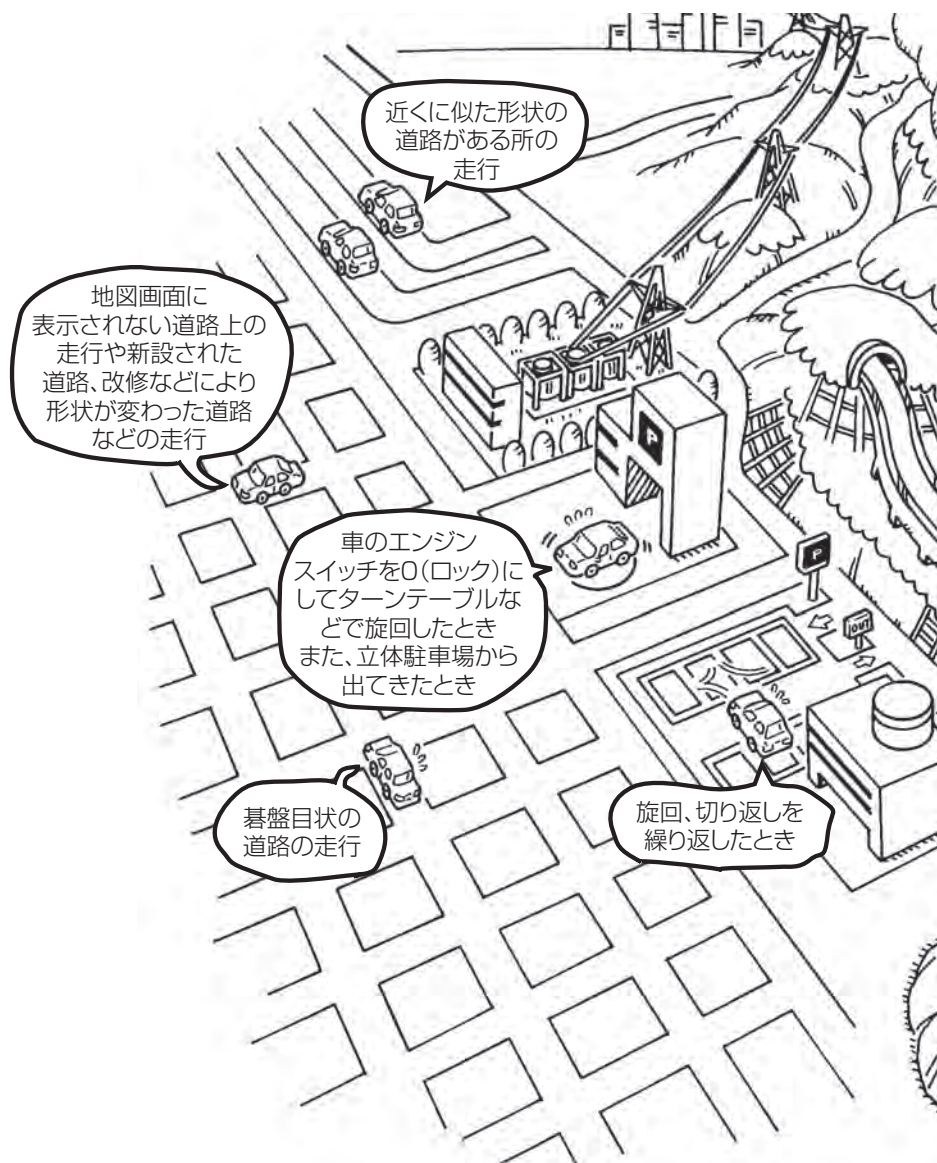
- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。
- ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どこか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
 - 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
 - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
 - 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
 - 極度に迂回したルートしかない場合。
 - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

● 以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示されることがあります。
この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示されることがあります。
修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- **一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定でフェリーを優先“しない”に設定しても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

自転車マークの表示誤差について

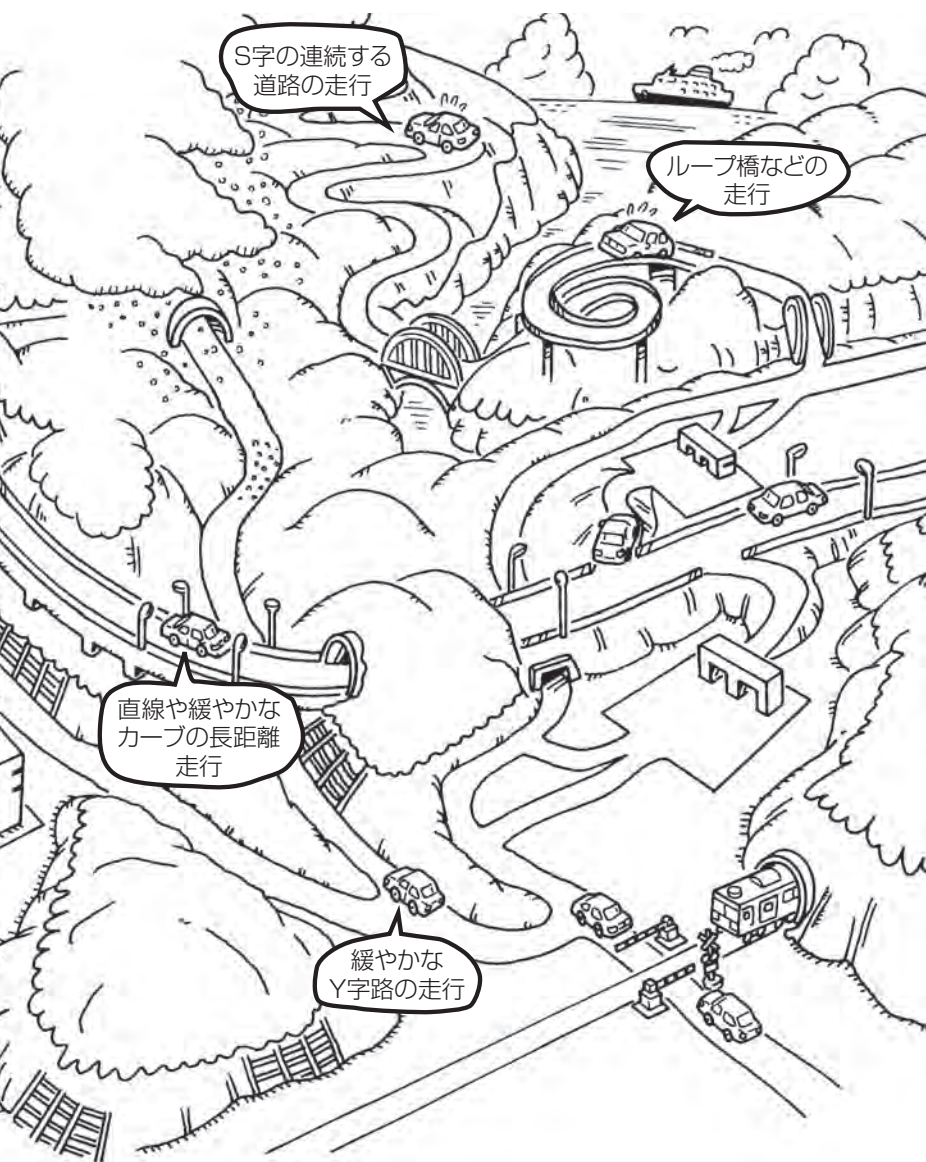
自転車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。





アドバイス

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。



地図表示記号(例)

道路の表示色

青色 : 高速道路、有料道路

赤色 : 国道

緑色 : 主要地方道、県道

灰色 : 一般道、細街路

青色(破線) : フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。



アドバンス

道路色は“地図切り替え”で選択したボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選択したときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-5

立体アイコン(例)



東京タワー



新宿センタービル



神宮球場



松江城



日本武道館

横浜ランド
マークタワー東京都庁
(第一庁舎)

通天閣



原爆ドーム



JR 東京駅

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → 、50%未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美瑛市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、釧路町、七飯町、八雲町、江差町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、斜里町、白老町、洞爺湖町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、幕別町、池田町	茨城県	水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、阿見町、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、美浦町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町
青森県	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、野辺地町、東北町	栃木県	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町、那須町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町、山田町、岩泉町	群馬県	前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、古岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
宮城県	仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、富谷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町	埼玉県	さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、湯上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、五城目町、八郎潟町、井川町	千葉県	千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高島町、川西町、庄内町		
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、いわき市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、鏡石町、会津美里町、西郷村、矢吹町、田村市、南相馬市、伊達市、石川町、玉川村、三春町、小野町、広野町、楮葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町		

市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア

東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、湯沢町
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、身延町、富士川町、昭和町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、蕎木村、豊丘村、山形村、筑北村、池田町、松川村
岐阜県	岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、森町
愛知県	名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大町町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町
三重県	津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、玉城町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → 、50%未満収録地域 → 

京都府	京都市、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、 城陽市 、 向日市 、 長岡京市 、 八幡市 、 京田辺市 、 京丹後市 、 南丹市 、 木津川市 、 大山崎町 、 久御山町 、 井手町 、 宇治田原町 、 笠置町 、 和束町 、 精華町 、 南山城村 、 伊根町 、 与謝野町	広島県	広島市 、 呉市 、 竹原市 、 三原市 、 尾道市 、 福山市 、 府中市 、 三次市 、 庄原市 、 大竹市 、 東広島市 、 廿日市市 、 安芸高田市 、 江田島市 、 府中町 、 海田町 、 熊野町 、 坂町
大阪府	大阪市 、 堺市 、 岸和田市 、 豊中市 、 池田市 、 吹田市 、 泉大津市 、 高槻市 、 貝塚市 、 守口市 、 枚方市 、 茨木市 、 八尾市 、 泉佐野市 、 富田林市 、 寝屋川市 、 河内長野市 、 松原市 、 大東市 、 和泉市 、 箕面市 、 柏原市 、 羽曳野市 、 門真市 、 摂津市 、 高石市 、 藤井寺市 、 東大阪市 、 泉南市 、 四條畷市 、 交野市 、 大阪狭山市 、 阪南市 、 島本町 、 豊能町 、 能勢町 、 忠岡町 、 熊取町 、 田尻町 、 岬町 、 太子町 、 河南町 、 千早赤阪村	山口県	下関市 、 宇部市 、 山口市 、 萩市 、 防府市 、 下松市 、 岩国市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、 周南市 、 山陽小野田市 、 周防大島町 、 和木町 、 田布施町 、 平生町
兵庫県	神戸市 、 姫路市 、 尼崎市 、 明石市 、 西宮市 、 洲本市 、 芦屋市 、 伊丹市 、 相生市 、 豊岡市 、 加古川市 、 赤穂市 、 三協市 、 宝塚市 、 三木市 、 高砂市 、 川西市 、 小野市 、 三田市 、 加西市 、 篠山市 、 養父市 、 丹波市 、 播磨町 、 福崎町 、 太子町 、 上郡町 、 猪名川町 、 多可町 、 稲美町 、 南あわじ市 、 朝来市 、 淡路市 、 宍粟市 、 加東市 、 たつの市 、 香美町 、 新温泉町 、 市川町 、 神河町	徳島県	徳島市 、 鳴門市 、 小松島市 、 阿南市 、 吉野川市 、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 石井町 、 松茂町 、 北島町 、 藍住町 、 板野町 、 上板町 、 つるぎ町 、 東みよし町
奈良県	奈良市 、 大和高田市 、 大和郡山市 、 天理市 、 橿原市 、 桜井市 、 五條市 、 御所市 、 生駒市 、 香芝市 、 葛城市 、 宇陀市 、 平群町 、 三郷町 、 斑鳩町 、 安堵町 、 川西町 、 三宅町 、 田原本町 、 高取町 、 明日香村 、 上牧町 、 王寺町 、 広陵町 、 河合町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村	香川県	高松市 、 丸亀市 、 坂出市 、 善通寺市 、 観音寺市 、 さぬき市 、 東かがわ市 、 三豊市 、 土庄町 、 小豆島町 、 三木町 、 宇多津町 、 綾川町 、 琴平町 、 多度津町 、 まんのう町
和歌山県	和歌山市 、 海南市 、 橋本市 、 有田市 、 御坊市 、 田辺市 、 新宮市 、 紀の川市 、 岩出市 、 紀美野町 、 かつらぎ町 、 九度山町 、 高野町 、 湯浅町 、 広川町 、 有田川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 白浜町 、 上富田町 、 那智勝浦町 、 太地町 、 串本町	愛媛県	松山市 、 今治市 、 宇和島市 、 八幡浜市 、 新居浜市 、 西条市 、 大洲市 、 伊予市 、 四国中央市 、 西予市 、 東温市 、 久万高原町 、 松前町 、 砥部町 、 内子町 、 伊方町
鳥取県	鳥取市 、 米子市 、 倉吉市 、 境港市 、 岩美町 、 八頭町 、 三朝町 、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 日吉津村 、 伯耆町	高知県	高知市 、 室戸市 、 安芸市 、 南国市 、 土佐市 、 須崎市 、 宿毛市 、 土佐清水市 、 四万十市 、 香南市 、 香美市 、 いの町 、 佐川町 、 越知町 、 梼原町 、 四万十町 、 黒潮町
島根県	松江市 、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 安来市 、 江津市 、 雲南市	福岡県	北九州市 、 福岡市 、 大牟田市 、 久留米市 、 直方市 、 飯塚市 、 田川市 、 柳川市 、 八女市 、 筑後市 、 大川市 、 行橋市 、 豊前市 、 中間市 、 小郡市 、 筑紫野市 、 春日市 、 大野城市 、 宗像市 、 太宰府市 、 古賀市 、 福津市 、 うきは市 、 宮若市 、 嘉麻市 、 朝倉市 、 みやま市 、 糸島市 、 那珂川町 、 宇美町 、 篠栗町 、 志免町 、 須恵町 、 新宮町 、 久山町 、 粕屋町 、 芦屋町 、 水巻町 、 岡垣町 、 遠賀町 、 小竹町 、 鞍手町 、 桂川町 、 筑前町 、 大刀洗町 、 大木町 、 広川町 、 香春町 、 添田町 、 糸田町 、 川崎町 、 大任町 、 赤村 、 福智町 、 刘田町 、 みやこ町 、 吉富町 、 築上町
岡山県	岡山市 、 倉敷市 、 津山市 、 玉野市 、 笠岡市 、 井原市 、 総社市 、 高梁市 、 新見市 、 備前市 、 瀬戸内市 、 赤磐市 、 真庭市 、 美咲町 、 浅口市 、 和気町 、 早島町 、 里庄町 、 矢掛町 、 鏡野町 、 勝央町 、 奈義町 、 西粟倉村 、 久米南町 、 美作市 、 吉備中央町	佐賀県	佐賀市 、 唐津市 、 鳥栖市 、 多久市 、 伊万里市 、 武雄市 、 鹿島市 、 小城市 、 嬉野市 、 神埼市 、 吉野ヶ里町 、 基山町 、 上峰町 、 みやき町 、 白石町
		長崎県	長崎市 、 佐世保市 、 島原市 、 諫早市 、 大村市 、 平戸市 、 松浦市 、 対馬市 、 壱岐市 、 五島市 、 西海市 、 雲仙市 、 南島原市 、 長与町 、 時津町 、 東彼杵町 、 川棚町 、 波佐見町 、 佐々町

市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア

熊本県	熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、長洲町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、高森町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、さつま町
沖縄県	那覇市、宜野湾市、西原町、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、与那原町、南風原町、石垣市、八重瀬町



アドハイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2011年12月です。

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。「**VICS**」および「 **vics**」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)^{*1}から、FM多重放送^{*2}を使ってリアルタイム^{*3}に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

本機では、FM多重放送のVICS情報を受信し、レベル1～3を表示します。

※本書および画面表示では、VICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*1 (財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

*2 FM多重放送では広域情報を提供します。

*3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成24年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送……24時間(ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、
午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。)

※ VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICISリンクデータベースの著作権について〉

VICISリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICISリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICISリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICISリンクデータベース：VICISリンクと(財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICISに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 問い合わせ項目	お買い上げの Honda 販売店	VICISセンター* (東京センター)
VICISの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

※印…VICIS関連商品、VICIS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

※印…VICISの概念、計画、または表示された情報内容に関することは(財)VICISセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

(財)VICISセンター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

電話番号 0570-00-8831

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間 平日 9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX 番号 (03)3562-1719

FAX 受付時間 24 時間

URL <http://www.vics.or.jp/index1.html>

※ お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの Honda 販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※ PHS からはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款**第1章 総 則****(約款の適用)**

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等**(VICS サービスの種類)**

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上の VICS サービスを提供します。

第3章 契 約**(契約の単位)**

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー1台毎に1の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれたFM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者が所有する VICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

- (1) 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- (2) 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICIS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICIS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICIS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICIS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICIS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICIS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICIS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、

当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICIS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- (2) VICIS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICIS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICIS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】視聴料金 315 円 (うち消費税 15 円)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

VICIS 削除リンクに関する告知

VICIS による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICIS リンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICIS リンクの追加・変更が行われます。過去からの VICIS リンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当の VICIS リンクについて 3 年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICIS による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3 年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	▼／▲ (VOL) で調整してください。	H-19
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	H-31
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼したなどにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	A-20
ディスクを読み込まない。			
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。	保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	—
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量をOFFに設定してください。	H-33
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—
	ディスクを長時間再生していた。		

モ ニ タ ー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	T-2
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	T-6
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	T-2
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやDigital TV、iPodビデオなど)となります。	T-12

ナビゲーション

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	A-24
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	—
自転車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	—
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	A-5
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	A-6
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	A-24
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	B-7
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

ナビゲーション

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行なってください。	－
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-6、 D-9
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	B-21、 D-18
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	－
自動再探索ができない。	道幅が3m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。	D-19
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は6カ所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	－

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-6、 D-9、 D-19
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	B-21、 D-18
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-34
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	－

ナビゲーション

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	—
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路※を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	—
遠回りな自動ルートを探る。	探索では、細街路※を使用しないエリアがあるため*、遠回りなルートになることがあります。	基本道路(細街路以外の道路)に近づけて設定してください。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路※を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—

※印…細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

*印…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

ナビゲーション

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	T-24
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	T-24

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
VICS 情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選択していない。	交通情報番組(VICS) を選択してください。	E-13
VICS 情報(レベル3)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選択していない。	交通情報番組(VICS) を選択してください。	E-13
	地図の縮尺スケールが拡大されている。	地図の縮尺スケールを 1km 以下にしてください。	B-14
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選択していない。	一般情報番組 を選択してください。	E-13

リアカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。	G-21
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	G-25
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	—
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
リアカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。	—
	ガイド表示が“OFF”になっている。	セレクトレバーがR(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	G-22
リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda販売店で調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。	—

パソコン連携(いつもNAVI)★

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードから読み込んだ地点／ルート情報が表示できない。	SDカード内にデータがない／データはあるがフォルダ名が違う／フォルダ名を全角で入力している。	パソコンに半角で“DRIVE”という名前のフォルダを作成し、指定ホームページから地点／ルートをDRIVEフォルダにダウンロードしてSDカードに移動(ドラッグアンドドロップ)してください。	A-28

★印…VXM-135VFNの場合

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	J-4
“ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	J-4
	周りに障害物があるなど、受信状態 が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少 なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動した ノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入 る場合があります。電装品の動作を 止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置 いている。	妨害を受ける可能性がありますので 離してご使用ください。	—

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続ジャックに、iPod(と別売 のiPod接続コード)を確実に接続し てください。iPodが正常に動作し ない場合はiPodをリセットしてく ださい。	N-4
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転 送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが 古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応 しているバージョンにバージョン アップしてください。	N-3
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodを リセットすると改善する場合があります。	—
iPodを接続している のに画面にiPodの 接続をうながすメッ セージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッ チを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続 しなおして再度電源を入れてくださ い。	H-9、 N-4
ビデオ再生しない。 (映像がでない。)	ケーブルを正しく接続していない。 またはiPod本体に付属のケーブル を使用している。	音声・映像を再生させる(出力させ る)には、別売のiPod接続コード に別売のUSB接続ジャックとVTR コードを全て接続する必要があります。	N-4
選択できないビデオ がある。	アーティスト名、アルバム名などの タイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイ トルを登録してください。	—

CD、MP3 / WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3 / WMA モードに切り替わ らない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性あります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	A-20
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと言切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がリ、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3／WMA ファイルを再生できない。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合、MP3 ファイルは再生できません。	—
	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された MP3／WMA ファイルにしてください。	K-4、 K-5
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMA ディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA 以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。 (MP3 形式でないファイルに「.mp3」、WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けた CD-R、CD-RW を再生しないでください。)	—
聞きたい MP3／WMA ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMA ファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW 書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02 など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。	—
CD のアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenote データベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件の CD が存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。	I-17

Music Rack

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、 自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	I-4
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。 CDが挿入されているかご確認ください。	—
録音できない。	録音中に車のエンジンスイッチを変更してエンジンを始動した。	音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行ってください。	I-11
	本機の容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。	I-10、 L-22、 L-27、
録音したはずの曲 (アルバム)が 再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✓)を消している。)	チェックマーク(✓)を付けてください。	L-19
録音したはずの曲 (アルバム)が 再生されない。 または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動などでデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行ってください。	I-11
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
現在地 をタッチしても現在地が表示されない。	Gracenote データベース更新中または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後にタッチしてください。	—
ジャケット写真を 登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEG ファイルを使用してください。	—
ジャケット写真が 小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	200 × 200ピクセル以上、1024 × 1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—
間違ったジャケット 写真が表示される。	同名(同じ日付に録音した)新規のアルバムにジャケット写真を登録した。	Gracenote データベースでタイトルを取得してからジャケット写真を登録してください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。	G-28
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	B-4、 M-5
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AAC／JPEGファイルにしてください。	K-3、 O-4、 T-13
	動作モードが間違っている。	再生させたい動作モードを選択してください。	H-21
	結露している。	SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。	B-4
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	拡張子を確認してください。	K-3、 O-4、 T-13
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録したい順と異なる。	SD／USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	K-3、 O-4
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	H-21

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
JPEG ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録された JPEG ファイルにしてください。	T-13
	「画像ファイル」モードになっていない。	モード切替で「画像ファイル」モードに切り替えてください。	H-21
AAC ファイルを再生できない。	AAC ファイルに画像データ (iTunes のアートワークを除く)、映像データが混在している SD カードまたは USB 機器を再生しようとした。	AAC ファイルに画像データ (iTunes のアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合 AAC ファイルは再生できません。	—
MP3 / WMA / AAC 再生時にエラーメッセージが表示される。	Mac で作成したファイルを SD カード / USB フラッシュメモリで再生している。	Mac でファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用する SD カード / USB フラッシュメモリから隠しファイルを削除してください。	—
ウォークマン®でMP3 / WMA / AAC ファイルが再生できない。	ドラッグ & ドロップ転送を行なっている。	MP3 / WMA / AAC ファイルは USB フラッシュメモリを使用して再生させてください。	—
		ウォークマン®で再生できるファイル形式は OMA のみです。ウォークマン®に付属の x-アプリまたは Sonic Stage のアプリケーションを使用することでウォークマン®に MP3 / WMA / AAC ファイルを転送することができます。x-アプリまたは Sonic Stage のアプリケーションで転送することで自動的に OMA ファイルへ変換され、再生することができます。	—
USB 機器を認識していない。	対応していない USB 機器の可能性があります。	別の USB 機器でためしてください。	—
		本機で対応しているウォークマン®か確認してください。	M-4
	USB 機器が正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。	M-5
	USB 接続ジャックが正しく接続されていない。	Honda 販売店にお問い合わせください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ジャケット写真が表示できない。	MP3 / WMA / AAC ファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes、Windows Media Player などのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEG ファイルを使用してください。	—
	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	0-4 *印
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176 × 176ピクセル以上、1024 × 1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

- 対応ファイル形式につきましては「再生可能なデータについて」0-4 / 「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照してください。

DVD

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がオフになっている。	設定を変えてください。	P-14、 P-22
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	A-20
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部にこまって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	A-17
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	P-2
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	P-26
“⓪” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	A-20
	振動の生じる場所で使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

DVD

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声言語／字幕言語 が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	P-26
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	P-27
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	P-27
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	P-22
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	● miniB-CASカードを挿入していない。 ● miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	H-8
文字スーパーが出ない。	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	Q-37
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	Q-20
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	Q-38
受信できない。	● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。 ● 放送エリア内にいない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	Q-14
		地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に付属の地上デジタルTV用フィルムアンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書に従って正しく設定してください。	—
映像が止まったりモザイクがかかる。	受信モードを12セグ固定にしている。	自動切替に設定しておく受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像が映らない場合があります。	Q-7
	周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。	受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。	—

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。 しばらくお待ちください。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行なった ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

ハンズフリー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで音声が入る。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない。 ● 着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	S-15
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中)	送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。	S-15、 S-22
通話後、オーディオの音が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	H-19
携帯電話と接続できない。	Bluetoothで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBluetooth機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0(ロック)→Ⅱ(ON)にしてください。	—
	Bluetooth対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	S-4 アドバイス

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を1.5秒以上タッチして登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	E-24
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。	E-24
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居る。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっている。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	E-14
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信している。	全てのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	E-14
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。	安全な場所に車を止めてから操作をしてください。	—

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカード内に地点情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがない。	指定のホームページからデータを書き込みしてください。	A-28
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	オーディオでSDカードを使用している。	オーディオを終了してください。	H-9
“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”	SDカードが差し込まれていない。	車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをII(ON)にしてください。	B-4
	SDカードが挿入されていない。	指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	A-28
	SDカードは挿入されているが、認識できていない。	SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	P-2
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	P-26
“入力されたパスワードが違います。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	P-26
“走行中は映りません。”	走行中にDVD/Digital TV/VTR/iPodの映像を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
● “録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。” ● “録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。”	本機の容量が一杯になったため。	本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしなしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆に挿入されている。 ● ディスクに汚れ/異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まへのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
● “録音に失敗しました。もう一度録音してください。” ● “CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。”	CDに汚れ、傷がある。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	A-20

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦O(ロック)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にしてください。それでもメッセージが表示されるときは、録音データの修復を行ってください。 ※復帰しない場合に、初期化(出荷状態に戻す)をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	I-11、 I-12
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“iPodが接続されています。”	iPod接続中にUSBモードを選択したとき。	別売のiPod接続コードを外し、別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してください。	M-5、 N-4
“再生可能な曲がありません。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	B-4、 O-4
	USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	M-2、 M-5
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	H-9、 B-4、 M-5
“SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	O-4、 B-4、 H-9
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“信号が受信できません。[202]中継局を探しますか?”	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	Q-40
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
“B-CASカードの交換が必要です。”	miniB-CASカードの故障が考えられる。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	Q-5
“このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。”	●miniB-CASカードの挿入方向が間違っている。 ●miniB-CASカードではないカードを挿入している。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	H-8
“パスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	S-6、S-16、S-14
“登録できませんでした。”	他のBluetooth機種からの登録が行なわれている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。	—
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。	G-28
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されているとき。	本機が対応しているUSB機器を使用してください。	M-2、 M-3、 M-4、 M-5
“対応していない機器が接続されています。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されているとき。		
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れたとき。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	S-4 アドバイス
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なるとき。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	S-14
	他のBluetooth機種からの登録が行なわれているとき。	ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。	—

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

ATRAC AD(アトラックエーディー)

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン®などで採用されているメディアフォーマットです。x-アプリやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

DTS : Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3 ファイル、WMA ファイルには、ID3 タグ、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3 タグ、WMA タグに対応したプレイヤーでID3 タグ、WMA タグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet(ジュリエット)

Microsoft 社が開発したCD 上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Joliet ではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

OpenMG(オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に  マークが表示されます。)

SDHC(エスディーエイチシー)

SDカードアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4 GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行うソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行いません。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

Bluetooth接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの英数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マスマストレージクラス

正式名称はUSB マスマストレージクラスといい、USB 接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないのので、チラツキが少なくなります。

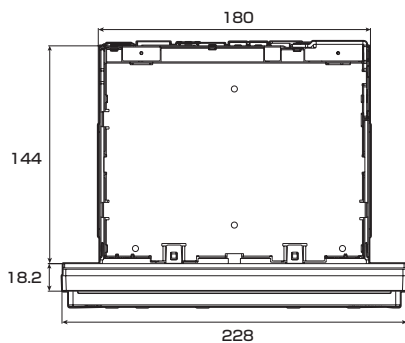
525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないのので、チラツキが少なくなります。

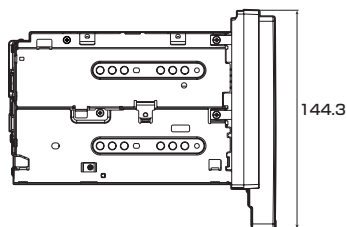
T-70 構成内容

外形寸法図(単位 : mm)

本体

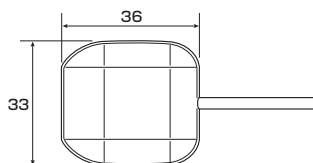


[平面図]

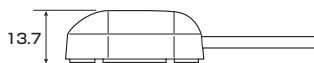


[左側面図]

GPS アンテナ

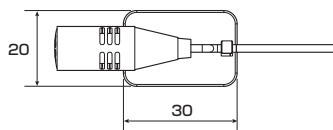


[平面図]

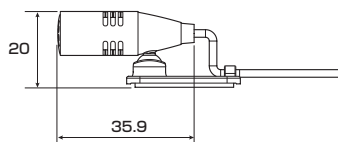


[側面図]

マイク



[平面図]



[側面図]

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	9 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ/ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-142 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S/N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μ V) AM 32 dB(μ V)
S/N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオ セパレーション	FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部

対応ディスク	種類 DVD ビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S/N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミック レンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
リアモニター接続端子	7ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	GT13専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント/コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	2ピン専用コネクター
マイク入力端子	ミニジャック
LUF入力端子☆	4ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	50 W×4 ch(15.2 V)
外形寸法	228×144.3×162.2 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	2561 g [☆] 2556 g [★]

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

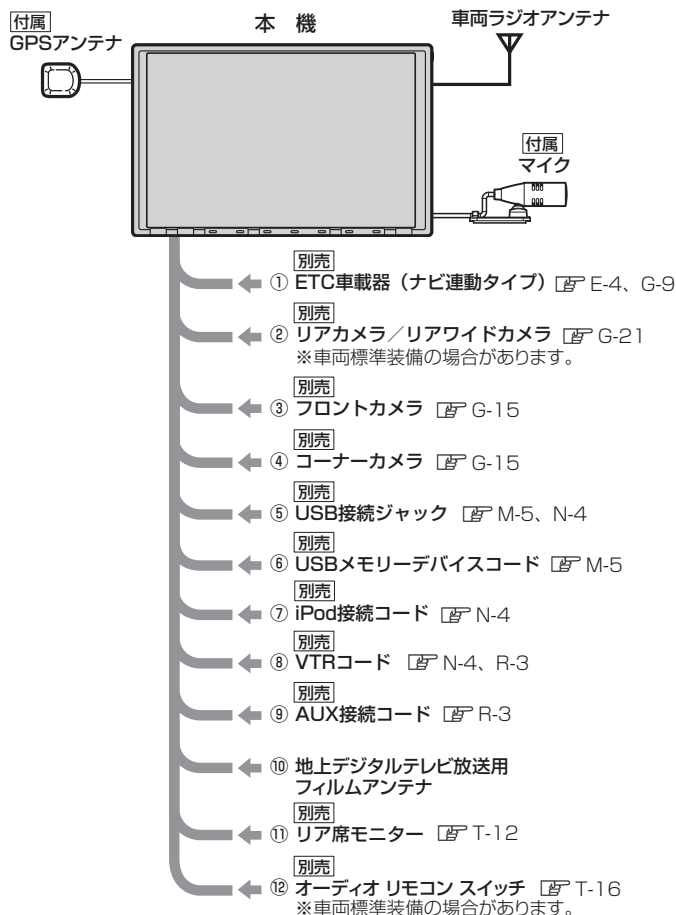
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

☆印・・・VXM-135VFNiの場合

★印・・・VXM-135VFNの場合

別売品(システムアップ)について



① ETC車載器(ナビ連動タイプ)

② リアカメラ

③ フロントカメラ

④ コーナーカメラ

⑤ USB接続ジャック

USB機器やiPodを再生する場合に必要です。

⑥ USBメモリーデバイスコード

⑦ iPod接続コード

iPodを再生させる場合に必要です。

⑧ VTRコード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

※iPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

⑨ AUX接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

⑩ 地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ

地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。

⑪ リア席モニター

⑫ オーディオ リモコン スイッチ

※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

U

さくいん

さ
く
い
ん

あ行

明るさ／コントラスト／色の濃さ／	
色合いを調整	T-2
アフターサービス	T-73
案内音量	F-34
案内スタート	B-21, D-18
イコライザー設定	H-27
いつもNAVI	A-28
ウォークマン®	M-3, M-4, M-6
迂回探索	D-20
映像の表示について	H-6
エコドライブ	
グラフ表示	E-30
設定する	E-29
評価を開始する	E-28
評価を止める	E-28
右画面に表示する	B-30
履歴を削除する	E-31
履歴を見る	E-30
エラーメッセージ表示	T-59, T-60
エリア更新／エリア選局／エリア表示	
(FM／AMモード)	J-2, J-6
オーディオ リモコン スイッチ	T-16
オーディオをOFFする	H-9
大文字／小文字	B-35
オプションボタンの設定をする	G-3
主な仕様	T-71
音楽／画像の切り替え	H-21
音楽ファイル	M-6, O-4, O-6
音質(イコライザー調整)	H-27
音声案内について	A-26
音声案内の音量調整(ナビゲーション)	F-34
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)	F-34
高速走行時の音声切替	F-36
合流案内／踏み切り案内	F-35
専用レーン案内	F-35
VICS案内	F-36
音声案内を止める(ナビゲーション)	F-34
音声はそのまま画面を消す	T-6
音声はそのままナビゲーションを	
表示する	H-20
音場設定	H-24
音量調整(オーディオモード)	H-19

か行

カーマーク設定	F-25
---------	------

外形寸法	T-70
------	------

各部の名称とはたらき(表示部含む)

オーディオ	H-2
・CD／MP3／WMA	K-8
・Digital TV	Q-6
DTVバーナー表示	Q-10
DTVメニュー	Q-9
・DVD	P-4
・FM／AM	J-2
・iPod	N-5
・Music Rack	L-2
・SD(音楽)	O-6
・SD(画像)	O-8
・USB(音楽)	M-6
・USB(画像)	M-8
・VTR	R-2
ナビゲーション	B-2

画質調整	T-2
------	-----

・初期値に戻す	T-5
---------	-----

カスタムアップデート(個別更新)	I-13, I-15, I-17
------------------	------------------

画像ファイル	H-22
--------	------

・画像を回転させる／	
リストより画像を選択する	H-23
・スライドショーを表示する	H-22

画像ファイル(JPEG)について	T-13
------------------	------

カメラ	
-----	--

フロントカメラ／コーナークメラ設定	G-15
リアカメラ映像設定	G-21

画面の曇りについて	A-5
-----------	-----

画面を消す	T-6
-------	-----

キー操作音設定	G-27
---------	------

軌跡	
----	--

記録する	F-51
記録を止める	F-51
削除する	F-52
表示／非表示	F-52

基本操作

SDカードを入れる／取り出す	B-4, H-7
映像の表示について	H-6
オーディオをOFFする	H-9
ディスクを入れる／取り出す	B-3, H-6
モード選択	H-4

緊急放送(Digital TV)	Q-49
------------------	------

経由地	
-----	--

経由地をスキップする	D-23
地点の入れ替え	D-15
追加	D-13
変更／削除	D-15

現在地	
-----	--

表示する	B-7
------	-----

補正について	B-7
現在地マーク	
位置を変更する	F-26
マークの種類を設定する	F-25
高音質モード(録音)	I-7
構成内容	T-70
交通情報	J-10
コーナーカメラ映像を表示する	G-15
故障かな?と思ったら	T-40
個人情報の取り扱いについて	T-11
コピー防止機能付CD	A-18

さ行

再生可能メディア	I-3, K-3
再生できるディスク	A-17
再探索	D-19
削除	
軌跡を削除	F-52
経由地の削除	D-15
現在のルートを削除	D-25
自宅を削除	F-46
登録地点を削除	F-46
ハンズフリー	
・携帯電話を削除	S-8
・発着履歴を削除	S-34
評価履歴を削除	E-31
保存したルートの削除	D-27
目的地履歴の削除	C-27
市街地図	
収録エリア	T-32
自車マーク	
位置を変更する	F-26
種類を設定する	F-25
システムアップ(別売品)	T-72
施設詳細	B-22
施設情報	
ジャンルから探す	C-12
周辺にある施設から探す	C-18
表示できる施設	C-21
名称で探す[名称50音]	C-2
自宅	B-21
位置を変更する	B-25
自宅周辺の地図を表示する	C-17
自宅までのルートを探索する	B-29
自宅を呼び出す	F-45
登録する	B-23
自動録音	I-4
ジャケット写真表示	K-3, L-3, M-7, N-6, O-7

ジャケット写真を登録する	L-21
車速連動音量設定	H-33
渋滞地点を確認する	D-32
渋滞予測地図	E-2
渋滞予測ルート探索をする	D-28
周辺施設	B-21
縮尺スケール	B-14
受信モード切替(Digital TVの自動→12セグ→ワンセグの切り替え)	Q-7
出発地・経由地・目的地の設定について	T-24
出発地に設定	B-22
手動録音	I-4
仕様	T-71
詳細設定	F-34
初期化	
SDカードの初期化	G-28
画質調整を初期値に戻す	T-5
出荷状態に戻す	G-28
センサー学習結果の初期化	G-28
チャンネルリスト/プリセットリストを	
クリアする	Q-26
登録データの初期化	G-28
ルート学習結果の初期化	G-28
初期設定一覧	T-8
自律航法とマップマッチング	A-25
スクロール	
地図スクロール	B-11
微調整	B-13
スピーカーの設定	H-29
スマートIC	D-5, F-29
設定	
DVDの初期設定について	P-20
ナビゲーション	
・3D表示の角度調整	F-4
・AUDIO情報の表示設定をする	F-6
・ETCの各機能設定	G-9
・MAPCODEの表示設定をする	F-6
・VICS表示設定	F-32
・緯度・経度の表示設定をする	F-6
・キー操作音の設定をする	G-27
・現在地(自車)マークの種類を設定する	F-25
・現在地(自車)マークの位置を変更する	F-26
・車速連動音量設定	H-33
・地図情報の表示設定をする	F-6
・地図色を設定する	F-5
・登録地点の表示設定をする	F-6
・平均時速を設定する	F-37
・右画面設定	F-2
・メイン画面設定	F-2

・メンテナンス情報設定	G-4
・ランドマーク表示の設定をする	F-23
・リアカメラ映像設定	G-21
・ルート案内画面の設定をする	F-10
・ルート探索条件の設定をする	F-28
ハンズフリー初期登録設定	S-5

選局

Digital TV	Q-20
FM / AM	J-4
VICS	E-20
ワンセグ	Q-20

選曲

CD / MP3 / WMA	K-11
iPod	N-7
Music Rack	L-4
SD	O-9
USB	M-9
標準キーのボタンで選曲する	H-12

全曲録音 / 選択曲録音	I-6
--------------	-----

た行

探索

1 ルート探索	D-6
迂回探索	D-20
現在地から自宅までのルート探索	B-29
現在地から目的地までのルート探索	B-28
再探索	D-19
探索条件の変更	D-17, F-28
複数ルート探索	D-9

地域 / 路線	C-13
---------	------

地図

VICSレベル3(地図)表示	E-10
拡大 / 縮小	B-14
市街地図の収録エリア	T-32
スクロール	B-11
地図画面の表示について	A-5
地図ソフトについて	T-20
地図に表示される記号	T-30
地図の色を設定する	F-5
テナント情報	A-10, B-14
表示する	B-5, B-7
表示(方位)を切り替える	B-10
見かた	B-8
右画面に地図を表示する	B-30

地図周辺	C-13
------	------

地図スクロール(地図を動かす)	B-11
-----------------	------

地点

削除する	F-46
渋滞地点を確認する	D-32

地点の入れ替え	D-15
登録する	B-26
並び替えをする	F-43
編集	F-38
呼び出す	F-45

地点登録	B-22
------	------

地点編集	B-22
------	------

地点を探す

緯度・経度から	C-32
施設のジャンルから	C-12
住所から	C-8
周辺にある施設から	C-18
地図から	C-34
地名から	C-29
電話番号から	C-6
登録地点から	C-24
マップコードから	C-33
名称から	C-2
目的地履歴から	C-26
郵便番号から	C-31

チャンネル一覧	T-18
---------	------

中継局 / 系列局サーチ(Digital TV)	Q-12
--------------------------	------

昼夜切替	B-21, T-4
------	-----------

著作権について	A-8
---------	-----

ディスクを入れる / 取り出す	B-3, H-6
-----------------	----------

ディスプレイ選択

(ノーマル / フル / ワイド / シネマ)	T-4
-------------------------	-----

データ管理

Music Rackの機能 / 構成	I-8
音楽データの修復	I-11
音楽データの初期化	I-12
使用容量を確認	I-10
本体情報	E-34, I-10
録音設定 / データ管理について	I-2

データベースについて(Gracenote)	T-14
-----------------------	------

データを削除

・ Music Rack	I-12
--------------	------

データを初期化

・ Digital TV	Q-44
・ Music Rack	I-12
・ SDカード / 登録データ / 学習結果 / 出荷状態に戻す	G-28
・ ハンズフリー(アドレス帳)	S-32

テナント情報	B-22
--------	------

問い合わせ(miniB-CASカード)	Q-5
---------------------	-----

動作モード(音楽 / 画像)切替	H-21
------------------	------

盗難多発地点案内	A-13, F-21
----------	------------

道路切替	B-21
------	------

登録

携帯電話登録	S-5
--------	-----

経由地の追加	D-13
自宅を登録する	B-23
地点を登録する	B-26
登録地点の編集	F-38
並び替えをする	F-43
保存したルートの呼び出し	D-26
登録ルート	D-26
時計表示	H-18
都道府県	C-13

な行

ナビゲーション画面を表示する	H-20
入力	
文字／数字の入力方法	B-35

は行

パーソナルHPと同期	F-50
ハイウェイモード	B-31, F-13
パソコン連携(いつもNAVI)	A-28
バックライト(画面を消す)	T-6
早戻し／早送り	H-13
ハンズフリー	
Bluetooth 情報を見る	S-14
初期登録設定	S-5
・携帯電話登録	S-5
・携帯電話のメモリを本機に登録する	S-18
・携帯電話の割り当てを切り替える	S-10
・自動接続設定	S-11
・通話設定(音量の設定)	S-15
・デバイス名／パスキー変更	S-16
・優先接続設定	S-13
通話中に地図画面を表示する	S-35
電話を受ける	S-20
・着信音量設定	S-20
・通話拒否(終了)	S-22
・通話切替(携帯⇄ハンズフリー)	S-23
・電話に出る	S-20
・トーン入力する	S-24
・保留にする	S-21
・ミュートする	S-22
電話をかける	S-25
・アドレス帳から	S-32
・電話番号から	S-25
・リダイヤルから	S-27
・履歴から	S-28
登録した携帯電話の詳細情報を見る	S-8
登録した携帯電話を削除する	S-8, S-9
発着履歴を削除する	S-34

ハンズフリーについて	S-2
微調整(スクロール)	B-13
表示項目	
MAPCODE／地図情報／AUDIO 情報／	
緯度／経度／登録地点表示	F-6
表示できる施設	C-21
表示部	
CD／MP3／WMA	K-9
FM／AM	J-3
iPod	N-6
SD	O-6
USB	M-6
標準キーの照明について	T-7
標準モード(録音)	I-7
ファイル形式	
(MP3／WMA／AAC／JPEG)	I-3
フェード・バランス調整	H-31
複数探索	B-22
複数ルートを探索する	D-9
フロントカメラ映像を表示する	G-15
平均時速設定	F-37
ページ送り／戻し	B-18
別売品(システムアップ)について	T-72
放送局	
VICS 放送局	E-11
保証／アフターサービスについて	T-73
保存	
現在のルートを保存	D-24
プリセット(保存)する	E-24
プリセット(保存)の上書きをする	E-26
本機で再生できるディスク	A-17
本体情報	E-34

ま行

毎年通知	G-6
マップコード	C-33
右画面	
3D 表示の角度調整	F-4
地図／情報を表示する	B-30
方位／縮尺スケールを変える	B-33
右画面の設定をする	F-2
右画面 AV	F-6, F-10
右画面にオーディオ画面表示	B-30
右画面表示	B-21, T-8
未録音 CD について	I-5
未録音 CD を挿入すると...	K-10
メイン画面／右画面の設定をする	F-2
メッセージ表示について	T-59

メニュー画面

各メニュー項目について	B-16
表示させる	B-15

メンテナンス情報の設定

モード選択

目的地

SDカードで地点を探す	C-35
緯度・経度で地点を探す	C-32
施設のジャンルから地点を探す	C-12
自宅周辺の地図を表示する	C-17
住所で地点を探す	C-8
周辺にある施設から地点を探す	C-18
地図から地点を探す	C-34
地名から地点を探す	C-29
電話番号で地点を探す	C-6
登録地点で地点を探す	C-24
表示できる施設	C-21
マップコードで地点を探す	C-33
名称で地点を探す(名称50音)	C-2
目的地履歴の中から地点を探す	C-26
目的地履歴を削除する	C-27
郵便番号で地点を探す	C-31

目的地周辺

目的地の追加

目的地の変更

目的地を設定してルート探索をする

文字／数字

訂正する	B-37
入力方法	B-35

や行

用語説明

ら行

ランドマーク表示設定	F-23
リアカメラ映像を設定する	G-21
カメラ映像について	G-25
警告文の位置を下げる	G-23
リアカメラ映像を表示する	G-21
リアカメラガイドの見かた	G-24
リアカメラガイドを表示する	G-22
リアカメラの次回表示ビュー設定	G-26
リア席モニターについて 別売	T-12
立体アイコン	T-31
リピート／ランダム／スキャン／	
シャッフル再生	H-14
ルート案内時の注意点	T-26

自転車マークの表示誤差について	T-28
-----------------	------

ルート案内ストップ／スタート

ルート案内設定

AV画面中の音声案内割り込み設定	F-19
ETCレーン表示	F-12
JCTビュー表示	F-15
交差点拡大図	F-16
交差点情報	F-11
全ルート表示	F-10
盗難多発地点案内	F-21
ハイウェイモード表示	F-13
方面看板表示	F-18
右画面AV中の案内割込み設定	F-20
目的地方向表示	F-22
リアル3D表示	F-17
ルート情報表示	F-13
ルート色	F-11

ルート周辺

ルート情報

ルート沿い

ルート探索条件の設定

ルート編集

現在のルートを削除	D-25
現在のルートを表示	D-21
現在のルートを保存	D-24
保存したルートの削除	D-27
保存したルートの呼び出し	D-26

ルートを変更する

ローカル／カスタムアップデート

録音

Music Rackの機能／構成	I-8
音楽データの修復	I-11
音楽データの初期化	I-12
自動／手動の選択	I-4
使用容量	I-10
全曲録音／選択曲録音の選択	I-6
録音可能曲数	I-8
録音時の注意点	I-9
録音設定／データ管理について	I-2
録音中止	I-5, K-10
録音方法／録音音質選択	I-6

数字・アルファベット

1 ルート探索	D-6
3D地図	B-8, B-10
3D表示の角度調整	F-4
AACについて	O-4
ATRAC AD / ATRAC3 / ATRAC3plus	M-2, M-3
AV MENU画面について	H-10
AV SOURCE画面	H-5
AV SOURCE画面のモードボタンについて	H-11
CD / MP3 / WMA	
MP3 / WMAの規格について	K-3
MP3 / WMAファイルについて	K-2
各部の名称とはたらき	K-8
再生 / 操作画面の見かた	K-9
トラックリストより再生	K-11
早戻し / 早送りをする	H-13
標準キーのボタンで選曲する	H-12
フォルダ選択	K-10
未録音CDについて	I-5
未録音CDを挿入すると	K-10
リピート / ランダム / スキャン再生	H-14
CD-TEXT情報	K-9
CDの録音方法(自動 / 手動)の選択	I-4
CPRM対応	P-3
Digital TV(12セグ / ワンセグ)	
Digital TV(12セグ / ワンセグ)を見る	Q-12
DTVメニューについて	Q-9
miniB-CASカードについて	Q-4
miniB-CASカードの問合せ先	Q-5
miniB-CASカードを入れる / 取り出す	H-8
エラーコードについて	Q-50
緊急放送を見る	Q-49
視聴エリアの変更をする	Q-14
受信モード(自動 / 12セグ / ワンセグ)切替	Q-7
初期スキャン / 再スキャン	Q-18
設定	
・12セグ / ワンセグ自動切替	Q-31
・miniB-CASカードテスト	Q-42
・映像切替	Q-28
・音声切替	Q-29
・字幕切替	Q-38
・受信レベル確認	Q-40
・チャンネル設定	Q-34
・中継局・系列局サーチ設定	Q-32
・テレビ / データの設定(サービスの設定)	Q-33
・時計表示設定	Q-36
・文字スーパー切替	Q-37
・郵便番号設定	Q-30

設定を初期化する	Q-44
チャンネル一覧	T-18
チャンネルリスト / プリセットリストを クリアする	Q-26
データ放送を利用する	Q-45
テレビについて	Q-2
バナー表示について	Q-10
番組表を見る	Q-16
番組名と記号	Q-10
プリセットボタンにメモリーする	Q-24
・エリア呼出 / プリセット呼出	Q-25
放送局からの情報を見る	Q-43
リバックについて	Q-2
リレーサービスの番組を見る	Q-48
臨時サービスの番組を見る	Q-48
DSP(音場の設定)	H-24
dts-CD	A-18
DVD	
DVDの初期設定について	P-20
・言語コード表	P-24
DVDビデオについて	P-2
・DVD再生ディスク対応一覧表	P-3
DVDプレーヤーを使う	P-6
・DVDメニューを使う	P-10
・VRモードディスクの再生	P-18
・アングルを切り替える	P-17
・音声言語 / 字幕言語を切り替える	P-14
・コマ戻し / コマ送りをする	P-9
・サーチ選択(好きな所から再生)	P-12
・再生一時停止	P-8
・再生停止	P-7
・時間表示切替	P-15
・スロー戻し / スロー送りをする	P-9
・タイトルメニューを使う	P-10
・チャプターを戻す / 進める	P-8
・リピート再生	P-16
各部の名称とはたらき	P-4
再生可能ディスク	P-3
再生 / 操作画面の見かた	P-4
ディスクに表示されているマークについて	P-2
早戻し / 早送りをする	H-13
ETC	
ETC情報を見る	E-4
ETCについて	G-12
各機能を設定する	G-9
予告案内 / 警告表示について	G-14
料金所通過表示について	G-13
ETCレーン表示設定	F-12
FM / AM(ラジオ)	
P1 / P2(ユーザープリセット選局)	J-5

エリア選局	J-6	・文字入力のかた	L-16
オートセレクト選局	J-7	お気に入り管理	L-28
各部の名称とはたらき	J-2	お気に入り登録	L-30
交通情報	J-10	各部の名称とはたらき	L-2
選局する	J-4	機能／構成について	L-8
バンド(FM／AM放送)を切り替える	J-4	再生／操作画面の見かた	L-3
表示部について	J-3	ジャンル変更	L-32
プリセットボタンにメモリーする	J-8	使用容量を確認する	L-10
GPS		選曲モード選択	L-7
GPS受信表示	B-5, B-9	・ジャンル一覧	L-10
GPSについて	A-24	・ミュージックエスコート一覧	L-12
アンテナについて	A-6	トラックリストの編集(曲管理)	L-23
受信しにくい場所について	A-24	・再生選択(再生させたくない曲の管理)	L-26
受信するまでの時間について	A-24	・データベース再検索	L-25
Gracenote データベース		・トラック削除	L-27
初期化	L-20	早戻し／早送りをする	H-13
データの書き出しをする	L-17	標準キーのボタンで選曲する	H-12
データの取り込みをする	L-19	ミュージックエスコート変更	L-33
データベースについて	T-14	未録音CDを挿入すると	K-10
ローカル／カスタムアップデート	L-13	リストより再生	L-4
internavi 情報	E-33	録音時の注意点	L-9
internavi 設定について	F-53	録音データの修復	L-11
internavi ドライブ情報	E-33	録音データの初期化	L-12
iPod		録音方法(自動／手動)の選択	L-4
iPodについて	N-2	NAVI MENU 画面について	B-15
一時停止	N-13	QQ コール	
映像データの再生(ビデオ再生)	N-14	表示する	S-36
各部の名称とはたらき	N-5	利用する	S-36
再生／操作画面の見かた	N-6	Quick MENU	B-19, B-20, B-21, D-19, T-8
接続する	N-4	Quick 機能	B-21
選曲モード選択	N-8	SDカード	B-4
対応可能なiPod	N-3	SDHC	O-2
トラックリストより選曲する	N-7	SDカードについて	O-2
早戻し／早送りをする	H-13	SDカードの取り扱いかた	A-23
標準キーのボタンで選曲する	H-12	SDカードを入れる／取り出す	B-4
モード切替	N-14	音楽再生／操作画面の見かた	O-6
リピート／シャッフル再生	H-14, H-16	画像再生／操作画面の見かた	O-8
JPEG(画像ファイル)	T-13	画像ファイル(JPEG)について	T-13
MCDB	I-8, I-13, I-14	再生可能なデータ(ファイル)について	
miniB-CASカードについて	Q-4	(音楽／画像)	O-4, T-13
miniB-CASカードを入れる／取り出す	H-8	選曲モード選択	O-11
Music Rack		操作可能な機能と組み合わせ	O-2
Music Rackモード イメージ図	L-6	早戻し／早送りをする	H-13
アルバムリストの編集(曲管理)	L-14	標準キーのボタンで選曲する	H-12
・アルバム削除	L-22	フォーマット(初期化)について	O-2
・アルバム情報保存	L-17	リストより再生	O-9
・再生選択(再生させたくない曲の選択)	L-19	リピート／ランダム／スキャン再生	H-14
・ジャケット写真登録	L-21	SDカードから地点を登録する	F-48
・タイトル編集	L-15	SDカードからルート探索をする	D-30
・データベース再検索	L-18	Sound(イコライザー設定)	H-27

SRS CS Auto(サラウンドの設定)..... H-25

USB

USB 機器について	M-2
USB 機器を接続する	M-5
ウォークマン®について	M-3
・対応可能なウォークマン®	M-4
音楽再生／操作画面の見かた	M-6
画像再生／操作画面の見かた	M-8
画像ファイル(JPEG)について	T-13
再生可能ファイル(音楽／画像)	M-2, M-3
接続をやめる	M-5
選曲モード選択	M-13, M-14
早戻し／早送りをする	H-13
標準キーのボタンで選曲する	H-12
リストより再生(ウォークマン®)	M-12
リストより再生(フラッシュメモリ)	M-9, M-10
リピート／ランダム／スキャン再生	H-14

VICS

VICS案内設定	F-36
VICS自動再探索設定	F-29
VICS情報の考慮設定	F-29
VICS情報の受信について	E-6
VICSタイムスタンプ	B-8, E-10
VICS放送局	E-11
エリア選局	E-23
概要／お問い合わせ	T-36
緊急情報を見る	E-18
契約約款	T-38
交通情報(図形情報)を見る	E-17
交通情報(文字情報)／一般情報を見る	E-15
自動選局	E-20
自動選局を止める	E-21
渋滞地点を確認する	D-32
受信する情報を選ぶ	E-14
手動選局	E-22
情報の消去について	E-13
情報表示を止める	F-33
表示設定	F-32
表示について	E-9
プリセット(保存)する	E-24
プリセット(保存)の上書き	E-26
プリセット(保存)の呼び出し	E-25
マーカー一覧表	E-11

VRモードディスク P-3

VTR

接続する	R-3
------------	-----